

Japanese
God's Wrapped Gift
60-1225

神の包まれた賜物

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1960年12月25日



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

神の包まれた賜物

1 主の家に来るのは、いつでも良いものですが、特にクリスマスや新年、そしてこうした聖なる日には、なおさら良いもののように思えます。

まるで、そういう時期には私たちのために特別な祝福が少し残されているかのようです。

ただ残念なのは、このクリスマスのような気持ちを、いつも持っていられないことです。

人々が手を振りながら「主の祝福がありますように」と声をかけてくれる。

それは本当に良いことです。

クリスマスで私が好きなことの一つは、まさにそこなんです。

さて、先日聞いたところによると、来週の土曜日の夜にウォッチパーティーがあるそうですね。

主の御心なら、私もその夜ここに来て、そのウォッチパーティーに参加したいと思っています。

そして主が許してくださるなら、来週土曜日の夜には、何かの題について少しお話ししてお手伝いできればと思っています。

それから日曜日の朝は、いつものように日曜学校があり、

日曜日の夜は伝道集会です。

そして次の日曜日の夜には、コミュニオンと足洗い式があります。

そうですね。

新しい年を正しく始めるには、とても良い方法です。

コミュニオンを取り、そして足洗いを行うことです。

2 さて、ここで一つお知らせをしたいと思います。

お願いしたいことがあります。

これは、いわば少し内輪の集まりのようなものですが、この幕屋の牧師、そして副牧師の方々、またこの幕屋の理事(トラスティ)と執事の方々だけの集まりにしたいと思っています。

私たちは、時々こうして集まるのが良いことだと思うのです。

そして、主がどのように私たちを導いておられるのかを確かめ合うのです。

また時には、聖書の中で理解が難しい箇所や、小さな問題が起こることもあります。

そして私たちは、どこでも同じことを語るようにしたいのです。

ですから、こうして皆で集まりたいと思っています。

そこで牧師の方々、そして副牧師の方々をお願いしたいのです。

もちろん、ネヴィル兄弟、そしてこちらにおられる副牧師の一人、ドン・ラデル兄弟。

またユティカのグラハム・スネリング兄弟、ここにおられる宣教師のストリックカー兄弟。

そして牧師をしておられる兄弟方、ここにおられるパーネル兄弟や、ほかの兄弟方もです。

それから、誰が副牧師であるかは皆さんご存じですね。

ニューオールバニーから来ているジュニア・ジャクソン兄弟。

それに加えて、執事の方々と理事の方々です。

そこでお願いがあります。

この次の週までに、小さな紙を一枚用意していただいて、そこに書いてきてください。

あなたが考えていること、あるいは聖書の箇所についての疑問、

またはあなたが務めている働きの中で、どうしたらよいか分からないことなどがあれば、それを書いてきてほしいのです。

3 例えば、理事(トラスティ)の兄弟がこう言うかもしれません。

誘惑のとき...

(誘惑が溜まったらどうしますか。)

祈りの中でその聖なる御名を息づかせてください。

貴重な名前、おお、なんて甘いのでしょうか!

地上の希望と天の喜び;

貴重な名前、おお、なんて甘いのでしょうか!

地の希望と天の喜び!

イエスの名においてお辞儀をする

(さあ、頭を下げて歌いましょう。)

彼の足元にひれ伏し、

天国の王の中の王、私たちは彼に冠を授けます、

私たちの旅が終わったら。

貴重な名前、おお、なんて甘いのでしょうか!

地上の希望と天の喜び;

貴重な名前、おお、なんて甘いのでしょうか!

地の希望と天の喜び!

私は彼を愛しています、私は彼を愛しています
 なぜなら、彼は最初に私を愛していたからです
 そして私の救いを購入しました
 カルバリーの木に。

神のクリスマスプレゼントを受け取った人は全員、今すぐ手を挙げて下さい。

私は彼を愛しています、私は彼を愛しています
 なぜなら、彼は最初に私を愛していたからです
 そして私の救いを購入しました
 カルバリーの木に。

126 あなたは彼を愛していませんか？彼は素晴らしい人ではないでしょうか？
 わかりました、今立っている間。

イエスの名を携えて、
 悲しみと悲嘆の子
 それはあなたに喜びと慰めを与えるでしょう、
 どこへ行っても持って行け。
 貴重な名前、おお、なんて甘いのでしょうか！
 地上の希望と天の喜び；
 貴重な名前、おお、なんて甘いのでしょうか！
 地の希望と天の喜び！
 ゆっくりと今、
 イエスの名を携えて、
 あらゆる畏からの盾として、

「もしこのような事が起こった場合、私の務めは何でしょうか。」
 あるいは執事の兄弟が、
 「このような場合には、執事として私はどうすべきでしょうか。」
 と尋ねるかもしれません。
 また牧師が、こう言うこともあるでしょう。

「この御言葉の箇所を読むと、ここではこういう意味のように思えるのですが、私たちが今教えている理解と、どうもはっきり一致しないように思えるのです。」

そういう聖書の箇所や疑問などを、そこに書いておいてください。
 そして、それをウッド兄弟に渡していただければ結構です。
 というのも、彼は私の家のすぐ隣に住んでいますから。
 書き終えたら、できるだけ早く渡していただければありがたいです。
 そうすれば、私も聖書を調べておくことができます。
 そしてその集まりですが、これは公の集会ではありません。

幕屋の牧師、副牧師、そしてこの幕屋の執事と理事の兄弟方のための集まりです。

皆さんからそれらが集まり次第、できるだけ早くその集まりを持ちたいと思います。

そして、この幕屋で他の集会が入っていない夜を一つ決めて、その時にそのことを扱うことにしましょう。

4 ネヴィル兄弟、そして兄弟方、すべての牧師の皆さん。

私は、私たちがこうして集まることは、とても良いことだと思うのです。
 そうすれば、どこへ行っても同じことを語ることができるからです。
 お分かりでしょう。

そしてその時には、その集まりもテープに録音しておきます。

私たちの質問も答えも、すべてテープに録音しておくのです。

そうすれば、それぞれがそのテープを持つことができます。

何か問題が起こった時や、質問が出てきた時には、そのテープをもう一度聞き直すことができます。

そうすることで、教会にとっても益になるでしょう。

もし誰かが、

「でも、この件については……」

と言ったとしても、

その時にはテープに戻って、そこでは何とされていたのかを確認することができます。

実際、私たちはすでにそのような性質のテープをいくつか持っています。

そして今年は、新しい理事の兄弟方もおられますし、

また新しく執事になられた兄弟方もおられると思います。

ですから、そうした兄弟方にも、そのことについてきちんと教えておきたいと思うのです。

5 それから、セラーズバーグのほうから来ている、私たちの兄弟の一人である若い兄弟、ウィラード・クレイズ兄弟にも、このことをぜひ知らせてあげてください。

というのも、彼はまだ主にあって若いのです。

こういう若い兄弟たちが、しっかりと土台を据えられるなら、それはとても良いことだと思うのです。

言っていることがお分かりでしょう。

どうやってしっかり立つのかを知り、

また心の中に小さな疑問が起こった時にも、

す。彼らはそう言っています、主よ。彼らは世界から非難されることを望んでいません。彼らは今、このクリスマスの時期にあなたを受け取り、神のパッケージを調べ、永遠の命を受け取りたいと考えています。主よ、今、あなたが彼らに罪の赦しを開き、ダビデの家に罪と不潔のために開かれた泉を開き、罪人が洪水の下に沈んだ場所を開いてください。彼らの罪深い汚れをすべて失います。許してください、主よ。彼らと一緒に家に帰って、今夜は彼らと一緒にいてください、主よ。主よ、彼らのために人生をあるべき姿にしてください。付与する。

私たちの中の病人や苦しんでいる人を癒してください。あなたは無力な人々の助けです。主よ、あなたは他の人ができないことをできる方です。あなたは永遠の恵みです。あなたは神の賜物です。そして私たちは謙虚にあなたを信じます、主よ。私たちは昼の星に従い、御霊のバプテスマによって神の賜物である永遠の命である完全な光に導かれるまで光に従います。許してください、主よ。私は今、それらをあなたに託します。イエス・キリストの名において、今夜彼らの魂を奪い、カルバリの深紅の血で洗ってください。私たちはイエスの名においてそれを尋ねるからです。アーメン。

125 主よ、私とともにいてください！

[ブランナム兄弟が口ずさむ]

…助け手は私を慰めてくれない、

主よ、生においても死においても、私とともにいてください。

あなたは心から彼を愛していますか？もう一度言いますが、昔のために言っておきますが、“私は彼を愛しています、私は彼を愛しています、なぜなら彼は最初に私を愛してくれたからです。”

私は彼を愛しています(今はみんな)、私は彼を愛しています、

なぜなら(私たちは

彼に手を)…私を愛していました；

そして私の救いを購入しました

カルバリーの木に。

今、私はあなたが前も後ろも誰かと握手し、あなたの側も握手してほしいのです。

ゼントを拒否しています。彼らは今でも彼のクリスマスプレゼントを拒否しています。彼らはそれを望んでいません。

欲しいんだ。受け取れてよかったです。おおエマニュエルよ、神は肉となり、私たちの間に住み、時代を超えてすべての人を拒絶し、非難されました。そして神の憐れみは今日、神を受け入れるすべての心に及びます。

ちょっと頭を下げましょう。

122 今夜、この建物で、このクリスマスの時期に、神が最初のクリスマスプレゼントを贈った約2000年前を記念して、私は疑問に思います。今夜、そのパッケージの内側を見て、罪人よ、そこにはあなたを愛している人、あなたのために死んだ人、あなたのために命を捧げた人がいるのを見たいだろうか？今夜、あなたは神からおくるみの布、彼らが神と呼ぶあの汚れた布“狂信的で聖なるローラー”を取り出して、それに身を包み、主の軽蔑される少数の人々と一緒に道を歩むつもりですか？

もしあなたが今夜建物にいて、祈りで記憶に残りたいなら、手を挙げてこう言いませんか“このクリスマスの夜、私は神のクリスマスプレゼント、神の本当のクリスマスプレゼントを受け取りたいのです”？神のご加護がありますように、お嬢様。神のご加護がありますように、お嬢さん。神のご加護がありますように、お姉さん。神のご加護がありますように。神のご加護がありますように、そこにいるお嬢さん。祈りの中で記憶に残りたい人は他にもいるのでしょうか？主よ、神のご加護がありますように、兄弟よ。

123 他の誰か、“主よ、私が道を進みます。あなたも汚れた足で座っているのを見ることはありません。私は決して立ちません。…彼らと合流するわ。私は神の国にすぐに来ます。私も軽蔑される者の一人になるでしょう。主よ、私と一緒にいてください。さあ、今夜一緒に家に帰ってください。あなたの名前の汚れを全部洗い流します。主よ、あなたは私の罪を洗い流してください。私に人生を生きさせてください。今の私のやり方じゃない。あなたのものを汚してるわ。私は毎日あなたを汚し、あなたにさらに多くのことを課しています。主よ、今夜私を解放してください。悔い改めの涙とともに、私は今、謙虚に十字架のふもとに来て、あなたを私の救い主として迎え入れます。”祈る前にもう一つありますか？手を挙げてください。よし。

124 大切な主よ、今夜私たちはあなたを連れて行きます。今夜、手を挙げたのはかなりの数の女性のように、主よ。もしかしたら彼らも下を向くことができるかもしれない。…彼らの中には、手を挙げたばかりの10代の少女もいま

どこかへ勝手に走って行ってしまおうのではなく、

ここで一緒に集まり、それがどういうことなのかを確かめ合えばよいのです。

そうすれば、私たちが集会に出る時、

この前の集会のように、いくつかの教会が一緒に集まる大きな合同集会の時にも、

その時には、何を語るべきか、

何を取り上げるべきか、

そして何をすべきかを、私たちははっきりと知ることができるのです。

私たちは皆、同じ言葉を語りたいのです。

そうすれば、互いに理解し合うことができますから。

6 さて、もう一つお話ししたいことがあります。

ネヴィル兄弟が先ほどとても良く言ってくださったように、

この聖なる季節、こうした交わりの時に、皆さんに心からのクリスマスの祝福をお祈りしたいと思います。

そしてこの機会に、皆さん一人一人に対して、私がどれほど感謝しているかをお伝えしたいのです。

皆さんからいただいたクリスマスカードや贈り物、また私たちの家に届けてくださったいろいろなもの、本当にありがとうございました。

心から感謝しています。

今朝、それは本当に私たちの心を温かくしてくれました。

というのも、私にはまだ小さい男の子がいて、クリスマスツリーをととても喜ぶ年頃なんです。

それで部屋にツリーを置いていたのですが、

今朝、そのツリーの下に行ってみると、

この教会の皆さんや、いろいろな場所にいる友人たちから届いた贈り物が、いくつもツリーの下に置かれているのを見つけました。

それを見たとき、どれほど感謝しているか、言葉ではとても表しきれません。

天の神が、皆さん一人一人を豊かに祝福してくださいますように。

それが私の祈りです。

そしてもう一つ言っておきたいのですが、

皆さんも分かってくださると思いますが、私たちのほうから贈り物を送り返すことは、なかなかできないのです。

というのも、私の収入は週に百ドルほどで、

それに大きな家族があり、そして友人は、いわば何百万もいるようなものですからね。

ですから、皆さん一人一人にお返しをするというのは、なかなか難しいことなのです。

ですが、皆さんの思いとご厚意には、心から感謝しています。

そしてきっと、皆さんもそのことを理解してくださると思います。

さて、来たる新年の夜のことを、どうか忘れないでください。

ああ、私がこの幕屋で最初にウォッチパーティーをした時のことを思い出します。

ここに、その時のことを覚えている人がいるかどうかは分かりませんが、

あの夜、主はあなた方の牧師から、ずいぶんと“でんぶん”を抜いてくださいましたよ。

ですから、その夜もまた、素晴らしい時になることを楽しみにしています。

さて、祈りに入る前に、今夜は聖書の御言葉を読んでおきたいと思えます。

実は今日一日、自分の中で少し考えていたのです。

巡らされることを知ってください!そして、彼はすぐに鎖がガタガタと鳴り、兵士たちが踏み鳴らす音を聞いた。ここに4、5人、あるいはおそらくローマ兵の大隊がやって来て、槍を輝かせます。そこまで歩いた。大きな看守は鍵を回して言いました、「“出て行け、バラバ!”」

“ああ、殺さないで!慈悲を!”

“バラバス、何も問題はありません。あなたは自由です。”

“私は何?”

“あなたは自由です。”

“どうやって自由になったの?”

誰かがそう指さした。バラバにとって、その贈り物が死に取って代わられたのを見たとき、それは何を意味したに違いありません!私も同じように感じました。神の賜物が私の死に取って代わりました。十字架上で瀕死の泥棒がそこに釘付けになった様子。

瀕死の泥棒はそれを見て喜んだ

彼の時代のあの泉

彼のように下劣な私でも、

私の罪をすべて洗い流してください。(はい!)

それ以来、信仰によって私はその流れを見ました

(私に明らかにされた)、

あなたの流れる傷は供給されました、

愛を取り戻すことが私のテーマです

そして私が死ぬまでそうなるでしょう。

(そうです。おお!)

121 閉まる、こう言うかもしれません。今日、クリスマスとは、ラクダのカートン、副王のカートン、四つのバラまたはシーグラムボトルを美しいサンタクロースの紙に包んだことを意味します。しかし、彼らは依然として神のクリスマスプレ

えます、そのように見えます。彼は今、足が涙でいっぱい、とても気分が良いです。おお神よ、私のものを取ってください!彼の足は悔い改めの涙、真の心で満たされていました。彼女は不道徳ではあったが、噴水にいるときだけ清く洗われることができた。

彼女はそこに座って彼の顔を見えています。私は、彼女の顔に涙が流れ落ち、全身が汚れているのが見えます。彼女のカールはすべて落ち、彼の足からの涙と汚れでいっぱいです。彼女はそこに立って、何が起るのか疑問に思っていました。“彼は私を追い出すでしょう。彼はここに入った私を刑務所に入れさせるでしょう。”

118 彼はそのように立ち上がった。

彼は言いました、「“サイモン、あなたに言いたいことがあります。”。あなたは私をあなたの家に招待しました。そして私が入ってきたとき、あなたは私の足に水を決してくれません。私は自分で洗ったでしょうが、あなたは私に水を決して与えません。[ああ、神様!] 首が燃えているとき、あなたは私に油を塗る油を決して与えません。そんなことしてないよ、サイモン。キスもして歓迎もしてくれなかった。

“しかし、この女性は涙で私の足を洗い、私の足にキスをし、ここに来てからそれをやめませんでした。あなたに対していくつか不満があります、サイモン。でも彼女は?[彼が預言者であったかどうか]、私は彼女に言います、彼女の多くの罪は赦されています。” おお神よ!

119 何だったんだ?彼女はそのギフトパッケージの中に何が入っているかを見つけました。彼女は愛があることに気づきました。彼女は許しがあることに気づきました。彼女はそれを見ていた。ああ、彼女は神の貴重な賜物が自分に作用するのをどのように見たのでしょうか!神の賜物が彼女に与えられたのを見たとき、彼女はどう感じたことでしょうか!彼女の罪は赦された。

120 その日バラバはどんな気持ちだったに違いない!バラバ、その話をご存知でしょう。バラバは捕まり、ガレー船に降ろされ、翌朝死ぬ予定だった無法者だった。彼は泥棒だった。無法者だった。彼は殺人者だった。彼は犯罪者だった。そして彼は一晩中髪を引っ張って刑務所を行ったり来たり歩き、翌朝十字架、死刑に処せられた。彼は死ぬだろう。その夜、なんと悪夢が彼を通り過ぎたのでしょうか!彼はどうして休むことができなかつたのでしょうか!

そして翌朝、朝食も何も食べずに、彼の血がオオカミの間と同じように張り

というのも、今夜ここに来ることができたなら、

「東の方でその星を見たので、彼を拝みに来た」

という題でお話する、と前に告げていたからです。

しかし、その題がどうも私には少し聞き覚えがあるように思えたのです。

そこで、この教会の理事の一人である私たちの良い友人、ソスマン兄弟に尋ねてみました。

すると彼はこう言いました。

「ブラナム兄弟、そのテープを持っていますよ。どこかでそれを説教されています。」

そしてここにいる私たちの大切な友人、テープ係のレオ・マーシア兄弟が言いました。

「ええ、五回ほど説教されていますよ。」

そこで私は、少しだけ題を変えることにしました。

それで、

「東の方でその星を見た」

について説教する代わりに、

今夜は

「神の包まれた贈り物」

という題でお話したいと思います。

8 それでは今から、聖書をお読みいたします。

マタイによる福音書、第2章です。

ユダヤのベツレヘムで、ヘロデ王の時代にイエスがお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。」

私たちは東の方でその星を見たので、その方を拝みに来たのです。」

これを聞いたヘロデ王は不安に思い、エルサレム中の人々も彼と共に騒ぎ立った。

そこで王は、民の祭司長たちや律法学者たちをすべて集め、

キリストがどこで生まれるはずなのかを問いただした。

すると彼らは言った。

「ユダヤのベツレヘムです。

預言者によってこのように書かれているからです。

『ユダの地、ベツレヘムよ、

おまえはユダの君たちの中で、決して最も小さいものではない。

おまえの中から一人の支配者が出て、

わたしの民イスラエルを治めるからである。』」

そこでヘロデは、ひそかに博士たちを呼び寄せ、

星が現れた時について詳しく問いただした。

そして彼らをベツレヘムへ送り出して言った。

「行って、その幼子のことを詳しく調べなさい。

見つけたなら知らせてくれ。

私も行って、その子を拝むことにしよう。」

彼らは王の言葉を聞いて出発した。

すると見よ、東の方で見たあの星が彼らの先に立って進み、

ついに幼子のおられる場所の上に来て止まった。

その星を見たとき、彼らはこの上もない大きな喜びに満たされた。

そして家に入ると、母マリアと共におられる幼子を見て、

115 そして彼女はそれらをこすり始め、彼の足にキスをします。ああ、それは彼女の主であり、彼の足にキスをしていました。彼女にはそれを乾かすタオルがありませんでした。それで、彼女が頭の上でカールしていたカールが落ちたに違いないと思います。なぜなら、彼女は髪を取り、それで彼の足を拭き始め、彼の足にキスをし始めたからです。

“主よ、ご存知でしょう.. 主よ、あなたは私が罪人であることを知っています。こんな風にあなたの前にここにいるのは嫌だけど、汚れた足であなたを見るのは耐えられない。” ああ、私の！汚れた足を持つイエス、歓迎されない、首にキスしない；彼女は彼の足にキスさえしていました、“主よ！主よ、主よ、私は罪人です。主よ、あなたは私がそうであることをご存じです。”

116 そしてその頃、老パリサイ人は振り返りました。“ふん！” 言った、“さあ、あそこを見てください！あっちを見ろ！それは、聖霊と呼ばれるものを持っている種類の会社です、” ほら。彼らは変わっていない。“それが何であるか見てください。彼がどのような人々と関わっているかを見てください。あなたはその聖霊と神の癒しについて話します。何なんだよ？町のゴミ！”

確かに。それが誰に明らかにされるのか。彼女はそのパッケージに何が入っているかを知っていました。彼女は、いつでもどこにでも行ける唯一の時間を知っていました.. 彼女はパリサイ人のところに行くことができませんでした。彼は彼女を教会から追い出すだろう。彼らの社会の地位ではない。

しかし、罪人のための社会がありました。それはとても嬉しいです。罪人が来る場所があります。ギレアデには傷人を丸ごと作る香油があります。彼女はそれを見つけた。彼女はその贈り物を知りたかったので、彼の足にキスをしていました。

117 そしてパリサイ人は言いました、「“ああ、ああ！” こっちへ来いよ、少年たち！はっ！ふーん！あなたの預言者がいます、ほら。もし彼が何らかの預言者だったら、どんなタイプの女性が彼の足を洗っているのか知っているでしょう。そこを見て！狂信について話してください！それは私の家に恥をかかせます！”

イエスは一言も言わず、ただ立って女性を見守っていました。それでしばらくして... 彼はパリサイ人が何を考えているかを知っていたので、立ち上がりました。

あの女、見えるよ。“ああ！ああ、これが私の時間です。彼は私を非難するでしょう。彼は私をこの家から追い出すでしょう。” 彼が立ち上がっているのが見

彼女が本当に簡単に滑り込み、彼がそのような場所に到達するのを見ました。そして彼女は彼を見上げた。涙を流しながら彼女が顔を下に走り、大きな茶色の目で彼をそのように見上げているのが見えます。そして彼女は瓶を叩き、軟膏を剥がし、彼の足に注ぎました。彼女はイエスを汚れた足で座らせるつもりはなかった。

あなたは言います、“私もそうしません。”

じゃあ 何とかしない？彼は今日この国で最悪の名前を持っています、“聖なるローラー、宗教的狂信者。” どうにかしない？立ち上がって言いなさい、“私は主の軽蔑された少数の者たちとともに道を歩みます。その荷物を受け取る準備はできています。”

114 彼女はその油を彼の足に注いだ。部屋全体がそれで明るくなりました。高価だった。イエスにとってあまり良いことはありません。彼に最善を尽くしてください。あなたが持っているものすべて—あなたの人生、あなたの魂、あなたの存在、あなたの時間を彼に与えてください。あなたが持っているものはすべて、神に与えてください。

そして彼女はたまたま見ました。彼女はそこに立っていた。ああ、私の！彼女はこの油を彼の頭に注ぎ、それから彼の足元に手を伸ばして始めました。。おお！彼女は彼の足を上げて見ました。彼らは汚かった。彼女には何もなかった。… 彼女は自分の罪について考え始め、こう言いました。“きっと、神は私を非難するでしょう。” それで彼女が彼の首に油を塗ってこしたとき… それから彼女はそこに降りて、彼の足を掴んで倒れました。

彼女は泣き始めました、“ああ、私はこの男の前に立っているなんて、とても罪人です。私は本当に罪人です！” そして彼女は顔を上げ、大きくて美しい目をしていました。彼女は思った、“彼は私をこの部屋から追い出さだろう。” しかし、彼は決して動かなかった。彼はただ座って彼女を見つめた。ああ、それが好きだ。彼はただ座って彼女を見つめた。

“ああ、彼は私の心を知っています。今、私の心の中で神が本を読んでいるのを感じます。彼は私がダメだと知っている。主よ、私はそれを知っていますが、汚れた足であなたを見るのは耐えられません。どうしても我慢できない。君が唯一の希望だ。我慢できない！” 彼の足にはなんと美しい水でしょう、ああ、悔い改めの涙です！ああ、ああ！老パリサイ人はそのようなものを提供できませんでした—水、彼女の頬に流れる涙！

ひれ伏してその方を拝んだ。

そして宝の箱を開いて、

黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

それから、ヘロデのもとへ戻るなど夢で神から告げられたので、

彼らは別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

- 9 それでは今夜、このところから一つのテキストを取りたいと思います。先ほど読んだ箇所そのものではありませんが、同じ出来事の中からです。ルカによる福音書、第2章7節です。

「そしてマリアは、その初子である男の子を産み、

その子を布にくるんで、飼い葉おけに寝かせた。

彼らのためには、宿屋に部屋がなかったからである。」

- 10 それでは、祈りのために頭を垂れましょう。

聖く、恵み深い神よ。

この世がこれまでに知ったことのない、最も偉大な贈り物——主イエス・キリストを私たちに与えてくださったお方よ。

今夜、私たちは感謝をもって、あなたの御前にへりくだって参ります。

そしてこの素晴らしい贈り物のゆえに、心の奥底からの深い礼拝をあなたにささげます。

私たちは、お返しできるものを何一つ持っていません。

それなのに、あなたが求められたのは、ほんのわずかなことでした。

「すべて疲れた者、重荷を負っている者は、わたしのもとに来なさい。

そうすれば、わたしがあなたがたの重荷を負い、罪を取り去り、あなたがたを自由にする。」

ああ、何という交換でしょうか。

そのようなことができるのは、あなた以外に誰もおりません。

私たちの父なる神よ。

そしてあなたがそれを私たちのためにしてくださったことを、私たちは心から感謝いたします。

今この時代にあつて、私たちはその証人です。

あなたは私たちの重荷と罪を取り去り、その代わりに喜びと平安を与えてくださいます。

主よ、この内なるクリスチャンの経験——

私たちの心の中にあるクリスマス——

それをどれほど感謝していることでしょうか。

私たちはそのことを本当に喜んでいます。

そして、今が終わりの日であることを知るとき、

あの時代と同じように、主が近づいておられるしるしが再び現れているのを見るとき、

それを知ることができて、どれほど幸いでしょうか。

大いなる尊きお方よ、

私たちはあなたの御前で心を低くいたします。

どうかあなたの御霊が、私たちの心の中で、また私たちの人生の中で、完全に支配してくださいますように。

そして内側から私たちを強めてください。

この世界が今直面している、この大いなる暗い時代において、

私たちがあなたのしもべとして仕えることができるように。

主よ、今読まれたあなたの御言葉を、あなたの御前にささげます。

ただ一つの目的のために——

かし、それでも私は彼に近づかなければなりません。”

ああ、今夜人々がそれを見ることができればいいのにと思います。彼のところに行かなければ滅びます！それはあなたを“聖なるローラー”と呼ぶか、追い出すか、あるいは他にどのような違いをもたらすのでしょうか？彼のところへ行け！彼のところへ行ってください——それがあなたの唯一の希望です。

112 彼女は降りて、これを受け取りました。。そして、そこにいるユダヤ人の仲間の一人が、商売が悪かったと言い、後ろに座ってお金を数え、みんなが宴会などに行っているのが見えます。この女性が入ってきた。“さて、ここで何をしていますか？” 彼女はこのローマのデナリを約30個カウンターに注ぎました。“ああ、はは！何が欲しいの、お嬢さん？”

ほら、それが違ったんだ。彼は彼女が何者であるかを見ましたが、彼女がお金を持っているのを見たとき、それは違います、ほら。それが今日の世界です。If you got money, you're a big shot; if you have not, you're nothing. お金があれば、あなたは大物だ。“ああ、それは違いますね。何が欲しいの？”

“私はあなたが手に入れた最高のスパイクナードが欲しいのです。これしか手に入らなかった。数えてみましょう。30個、あなたのために。”

“ああ、そうだ、このボトルはここで買えるよ、最高だよ。”

“欲しい。”

“全部買いたってことですか..?”

“そのボトル全体が欲しいです。”

彼女が持っていたのはそれだけだった。それがあなたがしなければならないことです、兄弟たち。それはあなたが得たすべての罪を犠牲にします。あらゆる費用がかかりますが、喜んで寄付してください。

113 それで彼女はフェンスに滑り込み、彼女がそこを見ているのが見えます。彼女はイエスがまだ手つかずのままそこに座っているのを見ます。そして、あそここのパリサイ人の牧師は今でも下ネタなどを語り、他の牧師たちと一緒に、どこかで何か大きなことについて語り続けていますが、私たちの貴重な主には気づかれず、知りませんでした。

彼女は言いました、“どうすれば入ることができますか？” それで今、私は

もイエスに注意を払わずにあそこに座っているのを見ました。

109 しかし、それは彼女に明らかにされました。ああ、彼女が目をこすってこう言うのが見えます、“それは彼ですか？それは、かつて私と同じ女性が教会に麻薬で連れ出され、石打ちで殺されそうになったとき、彼女を救ったのと同じ男です。そして彼は言った、「女性よ、あなたの告発者はどこにいるのですか？」それは彼に違いない。”ほら、信仰は聞くことによって生まれ、それが神であることが彼女に明らかになりました。

彼女は言いました、“でも、見てください！彼は歓迎されていない。彼は足が汚れている。どうしたらいい？私は女性です。そして、もし私がたまたまそこに入って何かを言ったら、なぜ、彼らは私をバーの一つから追い出すでしょう。そして私は名声のない女性ですが、彼は私が悪名が高いことを知っているでしょう。彼は私が悪い女性であることを知っているでしょう。それで、私はそれについて何ができるでしょうか？”

110 彼女が向きを変えて歩き回り、「ああ、何かしなきゃ！」と言うのが見えます彼は歓迎されていない。しかし、何かが私に、それが私が人生を送る唯一の方法であることを明らかにします。”

いるぞ！ああ、兄弟！“そのパッケージに何が入っているか見てみたいです。そこには私の罪を赦してくれる何かがあることはわかっています。私は売春婦ですが、悪人ですが、クリスマスのパッケージを見たいと思っています。そこに私にとって何かがあることはわかっています。”

誰にでも何かがある。そうです、罪人の友人よ。ギャンブラーに何かある。嘘つきには何かある。すべての人に何かがあります。そして、このクリスマスパッケージにはあなたへの何かがあります。それを捨てないでください。愚かな愚か者パリサイ人は、どのようにしてキラキラした飾りを取り、贈り物を捨てたのでしょうか！なんて哀れなことなんだ！

111 ここに彼が来ます。

彼はあそこに座っていて、この可哀想な小さな女性は、おそらく自分が住んでいる家に行き、その古いきしむ階段を上り、靴下か何かを手を伸ばして、お金を手に入れます。彼女は言いました、“ああ、私に何ができるでしょうか？ちょっと待ってください、これを元に戻したほうがいいです、なぜなら彼は私が悪名高い女性であることを知っているからです。でも、それが私の唯一の希望です。それが私にできる唯一のことです。私はその宴会に招待されていません。し

聖霊がこの御言葉から、今夜、

待ち望んでいるあなたの民のためのクリスマスメッセージとして、十分な内容を取りまとめさせていただきますように。

私たちはあなたを待ち望んでいます。

主よ、語る唇を清めてください。

そして聞く耳を清めてください。

また語られる言葉に力と命を与えてください。

それが私たちを、主イエス・キリストについて、より深く知るところへ導いてくれますように。

このことを、主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。

アーメン。

11 …ここにいくつもの聖書箇所を書き留めておきました。

あとでそれらを参照するためです。

昨日、新聞を手にとって読んだとき、私は少し驚きました。

というのも、世の商業界が言うところの「景気の良いクリスマス(バンパー・クリスマス)」になっているという記事が出ていたからです。

つまり、今年のクリスマスは、ここ何年もの間で、いや、ずっと昔にさかのぼるほど久しぶりに、これまでにないほど多くのお金が使われたというのです。

そしてまた、群衆がエルサレムに集まっているとも書いてありました。

さらに、アラブ人とユダヤ人の間に、しばらくの平和な時が訪れていて、

このクリスマスの季節のために、巡礼者たちが再び町に入ることができるように、互いの感情を少し和らげているのだそうです。

そして私は、しばしばこう思うのです。

なぜこの町――

ベツレヘム

が選ばれたのだろうか、と。

12 先ほど、あの方々が歌ってくださっていましたね。

あの若い兄弟と、その奥さん、そして子どもたちです。

私はその様子を見ながら、とても感心していました。

特にあの小さな女の子が、弦のついた楽器——小さなハープのようなものを弾きながら、きちんと拍子を取っていたのです。

そしてあの小さな男の子は、まだほんの赤ん坊のようなものですが、

それでもちゃんとその拍子に合わせて、そのハープをつま弾いていました。

たしか、ああいう楽器はハープと呼ぶのでしょうかね。

それで私は……。

13 ベツレヘムのことを考えるとき、私はこう思うのです。

なぜその町が、王の王の誕生の場所として選ばれたのでしょうか。

ご存じのように、ベツレヘムはとても小さな場所です。

本当に小さな町です。

それで私は、しばしばこう思ってきました。

なぜ神は、この偉大な出来事のために、もっと宗教的に名の知られた場所を選ばれなかったのだろうか、と。

例えば シロ。

そこはヨルダン川を渡った後、最初に幕屋と契約の箱が据えられた場所でした。

あるいは ギルガル。

そこもまた、宗教的に重要な町の一つです。

また シオン。

106 そして次に彼がやったことは、お互いの首にキスをし、それが彼らを歓迎したことだった。最後はあの歓迎のキスでした。ユダがイエスに歓迎のキスをしたことを覚えていますか？言った、“なぜそんなことをしたのですか、友達？” ほら、彼は自分の心を知っていました。

それで彼らはお互いを歓迎しました。あなたは、顔や足、その他あらゆるところに埃をかぶって入ってくる気はありませんでした。その古い衣服は垂れ下がっており、歩いているときにその埃を拾います。彼らは入る気はなかった。でも、皆さんがリフレッシュしたとき、そしてあなたが上がってきて、ゲストが…あなたは主賓でした。そして彼がやって来てあなたを歓迎し、首にキスをしたとき、あなたは兄弟だったのです。“さあ入って！冷蔵庫に行って、サンドイッチを買ってきて、何でもいいよ。” その時は歓迎されましたね。歓迎されましたね。

107 しかし、イエスはどうして、そのようなことが行われずにここに入ったのでしょうか？ほら、彼は足を汚して隅に座っていて、歓迎されていませんでした。おそらくパリサイ人は別のことについて話していたのでしょうか。彼はイエスが入ってくることに決して気づきませんでした。それが今日の教会、あまりにも多くのパリサイ人教会で問題になっているのです。神の力が入ってくるのに、彼らはそれに気づきません、ほら。彼は何かをするつもりだが、決して歓迎されなかった。

そして彼はあそこにおいて、おそらくジョークを言ったり、あそこのラビ・ソーアンドソー牧師やラビ・ソーアンドソーと楽しい時間を過ごしたりしていました。彼らはイエスに気づかなかった。そして彼はこっそり入って、どこかの隅に座ったに違いありません。私はそこに、汚れた足、水ぶくれの首、歓迎のキスがない彼の姿を見ることができます。

ああ、それは面白い気分になりませんか、汚れた足を持つイエス様？彼らは彼をあそこで呼んでいます、“ジェス！イエズス！” 言った、“汚れた足を持つイエスが隅に座っています。” おお神よ、どうしてそんなことが起こり得るのでしょうか。誰も彼に注意を払っていません

108 でも、小さな売春婦(ああ、なんてことだ!)、悪名高い女性。

彼女はたまたま通りかかった。たぶん彼女はそうだったのでしょうか。…町には誰もいなかった。有名人もみんなこの宴会に行っていたので、彼女のビジネスは貧弱でした。それで彼女は見つけた。…“ここパリサイ人の家では一体何が起こっているのでしょうか？” それで彼女はそこに行き、おそらくフェンスの亀裂から周りを見回したのでしょうか。ああ、私の！彼女はたまたま隅を見渡しました。彼女は、イエスが頭を下げ、汚れた足、水ぶくれの首、歓迎されないまま、誰

103 そして、ここでそのフットウォッシュは下手です。。ドアに来ると、彼らはあなたの足を洗ってくれました。なぜなら、馬や動物たちがいた埃っぽい道を歩いていたあなたの足には、埃や物が付着していたからです。そしてそれはあなたの体中に悪臭を放った。そして、その太陽があなたの首全体に降り注いだのです。そして、パレスチナの太陽、その直射日光は本当に暑いです。

それで、彼らがドアに来ると、彼らは足を外に出しました。彼らは足を洗いました。そして、彼らのサンダルを履いて、きれいに脱いで、整えなさい。そして、それを小さなスリッパを履かせてください。..今日の女性が寝室のスリッパとして履いているような小さなスリッパです、ご存知のとおり—そのようなもの—履いてください。そして…足を洗うのです。

104 そして、彼らは彼の肩にタオルをかぶせることになります。

そして彼はどうするのでしょうか？彼は顔のほこりを拭き、油を少し取りました、スパイクナード。ああ、金持ちが使っていたのは高価なものだった。南の女王はその一部を持ち出してソロモンに渡しました。オリエンツのリングから作られています。それは花のようなもので、小さな花のリングで、そこから—非常に高価です。

そして彼らはそのスパイクナードを取り、それを顔全体—首が燃えているので油など—に置き、タオルを取ってそのようにすべてを拭き取りました。そして彼らはリフレッシュされました。

105 さて、それが最初のことです。フットウォッシュの落第生がそれらを手に入れて、そのように修理しました。「もちろん、彼らは、大きなペルシャ製の絨毯などを持って、馬小屋にいた時の匂い、顔中に太陽の光と水ぶくれが漂うような匂いを持って、男の家に入る気にはなれないだろう。」彼らはリフレッシュされました。

そして、彼らが入ってくると、彼らはお互いに会い、そして実際に会ったとき。。いつも客人を歓迎するために、もし歓迎されたら、彼らはこうやって握手するんです、エド兄弟。彼らはこうやって握手して、それから…立ち上がれちよと。何か見せてあげる。彼らは彼の周りに腕を置き[ブランナム兄弟が説明し、エド兄弟の背中を数回撫でます。]そのようにして、握手して。。そして、それが彼らのやり方でした。それは歓迎でした。

じゃあ君は兄弟だったんだね。元気だったな。足が洗われました。あなたは全身に油を注がれました。

山の上にある、もう一つの偉大な宗教の都です。

あるいは、時代を通して多くの賢者や聖徒たちが集まってきた、あの誇り高い首都 エルサレム。

それなのに、なぜ神は エルサレム を選ばれなかったのでしょうか。

14 なぜ神はベツレヘムを選ばれたのでしょうか。

もしかすると、神はもっと大きな町の一つを選ばれてもよかったようにも思えます。

たとえば、逃れの町の一つのような場所です。

もし何か危険が起こったときに、御子を守ることができるような場所です。

例えば ラモテ・ギレアデ。

そこは大きな逃れの町で、人々が逃げ込むことのできる塔が備えられていました。

また カデシュ も大きな逃れの町でした。

そして ヘブロン もまた、逃れの町の一つでした。

それなのに、なぜ神はこのような大きな町を選ばず、

小さな ベツレヘム を選ばれたのでしょうか。

それらの町のほうが、もっと大きな名声があり、

もっと宗教的な背景も持っていました。

しかし、あなたもご存じのように、

神には神ご自身のやり方があるのです。

神は、物事をただご自身の方法でなさいます。

私は、そのことをとても嬉しく思います。

というのも、神は時々、宗教的な背景などまったくくないものを用いられるからです。

あるいは、何の背景もないようなものさえ用いられるのです。

それこそが、神が神である理由です。

神は、何でもないものを取り上げて、

そこから何かを生み出すことができるのです。

それが神を神たらしめているのです。

そしてそれこそが、私たちが神を愛する理由です。

また、それこそが、私たちのような貧しい者たちが神を心から感謝する理由でもあります。

なぜなら、私たちは貧しく、何の背景も持っていないような者であっても、

もし神が私たちをその御手の中に置いてくださるなら、

神は私たちを通して偉大なことをなさることができるからです。

15 もちろん、ヨシユアはイスラエルの子らを導いてヨルダンを渡らせ、その地を部族ごとに分け与えた人物でした。

そしてこのベツレヘムのある地域は、ユダ族に与えられた土地の中にありました。

それはユダの地方の北側の上部に位置する、小さな帯のような地域で、まるで小さな半島のように細く伸びている場所です。

その地方——この大きなユダの地域の中で——

そこは北側の穀倉地帯と呼ばれる場所でした。

つまり、小麦地帯です。

そこでは多くの小麦や大麦が育てられていたのです。

16 そして、カレブの息子の一人がこの町を建て、基礎を据えました。

その名はサルマです。彼はカレブの息子の一人でした。

もし調べてみたい方がおられるなら、

さい」と言ったでしょう。” そう言っていたと思います。そうじゃないの？彼はどのようにしてイエスの近くに立っていたにもかかわらず、自分の罪の赦しを求める機会を拒否し、イエスの近くに立ったのでしょうか！いいえ、彼は考えすぎていました。彼は召使いだった。彼はパリサイ人を尋ねなければなりませんでした。

そしてイエスよ、哀れなイエスよ、それでも疲れて疲れていて、自分が軽蔑され、憎まれていることを知っていました。彼はうなずきました、“私はそこにいます。” 神がそこにいると言うとき、神はそこにいるでしょう。心配しないでください、彼はそこにいるでしょう。彼を止めるものは何ともありません。

101 それで、その日、彼らはそこに着いたとき、太った子牛をすべて殺し、新しいワインなどをすべて持ち出しました。貧しい人々は自分たちがいる場所に来ることを許されませんでした。ああ、彼らが牛肉を外側で焼いたりすると、なんという臭いでしょう—そして、貧しい人々がそこに立って、ただ..彼らの食欲をそそるだけです。彼らは入って来られなかった。いいえ先生。そう、それは有名人だけのためのものだったのです。そして、外に立って。...

そして彼は、これらすべてのブドウや物を、まさに開花期、つまりブドウの豊満期に持っていました。そして、ブドウが甘いときの美しい香り、その他すべて。彼は新しいワインなどすべてを持っていました。

102 私はイエスがどうして気づかれずにそこに入ったのかよく疑問に思いました。そうですね..オリエンツの誰かがあなたを家に来るように誘ったとき.. ご存知のように、彼らはおもてなしに最適な人々です。さて、当時の人々は歩いていいたとき、サンダルを履いていました。そして彼らがそうしたとき..足を洗うという話を聞きますね。それが私たちがここで記念して行っていることです。それは命令だった。

誰かがあなたに家に来るように頼んだとき、それは次のようなものになるでしょう。彼らは玄関であなたに挨拶するでしょう。そして、彼らはいわゆる「国民の中で最も低い仕事」に就きました。彼らの中には戦車を運転する人もいれば、料理をする人もいれば、シェフや執事もいます。しかし、世帯全体の中で最も低賃金の男性はフットウォッシュのフランキーでした。彼はただの落第生だった。

そして、考えてみてください、私の主は足洗いの下手でした。そして私たちは何かを考えます..私たちは自分が何者かだと思っています。弟子たちの足を洗っている彼を見てください—漁師、汚い漁師、羊飼いが足を洗いました。

あの無名の女性のことを思い出します。彼女にとってほんの一瞬です。ちょっとだけ我慢してください。

98 聖書に登場するパリサイ人シモン、ああ、彼もこの贈り物を知りたかったのです。しかし、彼は自分自身の利己的な意志、自分自身の利己的な動機、パリサイ人のためにそれを知りたかったのです。それで彼は何をしたのですか？彼は盛大な宴会を開き、少し楽しんでもいいと思った。聖書の福音の物語はそれを私たちに与えてくれます。閉店する少し前に見てください。

そこで彼は、イエスを来てもらおうと言いました、なぜなら... パリサイ人はイエスを本当に愛していなかったと思います。なぜなら、彼には何の共通点もなかったからです。彼は年老いた堅苦しいパリサイ人で、イエスを憎んでいました。そこで彼は、イエスをあそこに連れて行き、彼にいくつかのいたずらをして、イエスが本当に預言者かどうかを確認しようと考えました。

99 そこで彼らは人を遣わして、彼に来るように頼みました。

運び屋が来て、おそらく埃をかぶって走り、そこに歩いて出てきて、イエスのそばに立っていました—おそらく人々を癒し、そして続けてきました。彼は疲れていた。もしかしたら、“今日は彼に会えない”と言ったのはペテロだったのかもかもしれません

彼は言いました、「しかし、ミスター、私の主人はラビ・サイモンです。」。彼はここユダヤにある大きな教会の牧師です。なんと、彼はあなたの主人を会いに来るように誘ったのです。ああ、それは彼にとって何という大きな名前でしょう、ほら！彼に会うべきだ。”

“そうですね”彼は言いました、“私があなたを連れて行き、彼が何を言うか見てみましょう。”そして彼は群衆を押し抜けた。太陽は沈みかけ、イエスは疲れ果て、この小さな運び屋がやって来ました。そしてその代わりに...

キリストの御前で！ああ、あの宅配業者はどうなったのかよく疑問に思いました。彼はどうしたんだ？イエスのすぐ近くに立っていて、パリサイ人からのメッセージがまだ残っていました。“私の主人はあなたに会いに来てほしいと思っています。彼はここでパーティーを開いています。彼はあなたが来て、名誉あるゲストになってほしいと思っています。”

100 ああ、そのメッセージを受け取って、彼にそんなに近づけたらよかったのにと思います。そうじゃないの？あのパリサイ人が何を言ったか考えたこともなかった。私は彼の足元にひれ伏して、「主イエスよ、罪人である私を憐れんでくだ

このことは 歴代誌第一 2章15節 に書かれています。

また マタイによる福音書 1章5節 にも出てきます。

そこに、この町がどのようにして建てられたかが記されています。

この町は小さな町でした。

しかし、この町で起こった偉大な出来事のゆえに、偉大な町となったのです。

私がいつも言っていることですが、

偉大なのは大きな教会ではなく、教会の中におられる偉大な神です。

偉大なのは聖なる山そのものではなく、

その山の上におられる 偉大な聖霊 なのです。

また、聖なる人そのものではありません。

その人の中におられる 聖霊 なのです。

この町も同じでした。

それは見たところ、とても小さな町でした。

谷のほうにあり、見た目には特に目立つような場所でもありませんでした。

人口も少なく、

そして今日でも、やはり小さな町のままです。

しかしそれは、神がそこで何かをなさるために、この町を選ばれたからなのです。

そこが私の好きなところですよ。

神が選ばれるものということです。

それが人の目にどのように見えるかは問題ではありません。

神がそれを選ばれたということ、それだけで十分なのです。

17 皆さんもよくご存じの 遊女ラハブ のことがあります。

彼女は若い娘でしたが、異教徒の父母によって町へ追い出され、

美しかったために、売春によって家の収入を得るようにさせられていました。

しかし、そのようにして町に追いやられた、この不道德な生活の中にいた娘でありながら、

彼女は 祈りに答えてくださる神がおられる ということを知ったのです。

そして、その神を受け入れる機会が与えられたとき、

また神のために何かをする機会が与えられたとき、

彼女はすぐにそれを行いました。

そのため神は彼女の命を救われ、

彼女の父母、そして家族までも救われました。

やがて彼女は、イスラエルの軍隊の将軍の一人と恋に落ちました。

歴史によれば、彼女はその将軍と結婚したのです。

そしてその二人の求愛は、とても素晴らしいものでした。

ついに彼らは落ち着いて、

ベツレヘムに住むようになりました。

18 そして、この将軍との間に、彼女は一人の息子をもうけました。

その将軍の名前が……今ちよつと思ひ出せません。

さっきここに書いてあったと思ったのですが、どうやら書いていないようです。

息子の名前は書いてあるのですが、その将軍の名前はここにはありません。

そのラハブとこの将軍との間に生まれた息子の名前は サルモン でした。

ああ、人はそんなに大喜びするとどうするのでしょうか？球技で大喜びしたらどうしますか？ああ、大声で叫ぶ人、“万歳！やったー！ビミティバム！彼はホームランを打った！ハハハ！ホホホ！” ほら？

95 そして、“非常に大きな喜び”を得たら、“栄光！と叫びます ハレルヤ！主を賛美せよ！” そうです、とても大きな喜びです！

“星があるよ！私たちを導いてください。ああ、私たちをこれらの組織から引き離し、その完璧な光に導いてください。西へと導き、今も進み続け、私たちをあなたの完全な光へと導いてくださいますように。” ただ続けてください。星は光へと導くはずだった。ついに、それは子供の上に残りました。彼らが[テープ上の空白のスポット。]…わずか数分で。よし、よし。

96 彼は貧しい漁師たちにご自身を明らかにされました。彼は一その荷物、その中に入っていたものが貧しい漁師たち、無学で教育を受けていない人々に明らかにされました。彼は自分の名前を書くことができない人々にご自身を明らかにしました。彼らは教会の執事や何か別の存在になることはできませんでした。彼らはそんなはずはない、彼らはとても無学だった。ああ、彼らはひどかった。そこで神は彼ら、望まれない人々、追放された人々にご自身を明らかにされました。神は彼らにご自身を明らかにされました。愛されていない人へ.. 彼は愛されていない人たちにとって愛すべき存在でした。病人へ；彼らは癒しを必要としていました。彼らはパッケージを調べて、それがどうなるかを確認することに前向きでした。神は彼らにご自身を明らかにされました。そして飢えた人々にはパンと魚を与えました。

ああ、私たちはここにいてもいいよ.. それについてはたくさんの方が書かれています、それはスキップしなければなりません。愛せないすべての人々にご自身を明らかにされました。誰も彼らを望んでおらず、彼らを狂信者と呼んでいたとき、神は彼らにご自身を明らかにされました。“私もその一人だと言えるのが本当に嬉しいです！” 愛せない、望まれない、病気で困窮している、飢えている 一神はご自身を明らかにされました。はい。

97 私は別のお腹を空かせた人のことを考えていました。ある日、パウロ(当時はサウル)という飢えた心の男がいました。空腹のままダマスカスへ向かう途中だった。彼は何をすればいいのかわかりませんでした。彼は神のために何かをしたかったのです。彼の周りに光が輝いた。“サウル、サウル、なぜ私を迫害するのですか？” 彼は飢えた心のパウロに自分自身を明かしました。不名誉な女性、有罪判決を受けたバラバに、神はご自身を明らかにされました。そうだね。飢えた心を持った男、悪名高い女性、そして追放されたすべての人々へ。

あなたが必ず見つける栄光の道
 その水の道こそが今日の光であり、
 イエスの尊い御名によって埋葬されました。
 老若男女よ、すべての罪を悔い改めなさい
 聖霊は必ず入って来られます
 夕方の方が明かりがやって来た、
 神とキリストが一つであることは事実です。

92 そう 兄さん。はい 先生。すべての罪を悔い改めなさい；神の賜物である聖霊は必ず入ってきます。彼はドアのところで、「“入れてくれ”と言っています。入れてくれるなら一緒に夕食を食べますよ。これらのことをあなたに明らかにします。超自然的なものをお見せします。あなたの病気を治してあげるよ。入れてくれれば、これらすべてのことは私が担当します。”—

93 -今日の聖霊の形で包まれた神の贈り物パッケージ。

そのとき彼は包まれ、神の子と呼ばれました。神の贈り物のパッケージは取り上げられ、再び包装され直され、送り返されました。アーメン。それは当時神の子に包まれていました。それは今日、教会と呼ばれる神の子たちに包まれています。そうです、神の贈り物が人々に包まれています。そして彼らは当時拒否したように、今日もそれを拒否します。もし彼らが家の主人ベルゼブブを占い師と呼んだとしたら、彼はその考えを見分けることができたので、彼らはさらにどれくらいあなたをそうしますか？彼らは家の主人を呼びました。。ああ、私の。調べてみましょう。

そう、賢者よ、彼らはそれを受け取りました。彼らは貧しく謙虚で、この奇妙な光を見ていました。

94 もう一つここで打ってみたいことがあります。そして、この光を見たとき、彼らは幸せでしたか！聖書はこう言っています。“彼らは非常に大きな喜びで喜びました。” ああ、彼らは少し叫んだと思います。そう想像しないのか？そう想像するだけよ。彼らが見たとき。… 彼らはずっと昔、あの古い組織に所属して、何かを見つけようとしていましたが、そこには何もありませんでした。彼らが門の外に出ると、あそこで再び聖霊の光が輝き、栄光の星が彼らを引きずり下ろしているのが見えました。彼らはとても幸せになり、非常に大きな喜びを感じました！

ダビデの子で神殿を建てた ソロモン とは別の、
 もう一人の サルモン です。
 そしてこのサルモンから、一人の息子が生まれました。
 その名は ボアズ です。

ああ、私たちは皆、あの ボアズとルツの素晴らしい物語 をよく知っていますね。

19 さて、ご覧のとおり、この遊女ラハブは 異邦人 でした。

そして彼女は、私たちの主イエスの 遠い祖母の一人 となったのです。

さらに、彼女の孫である ボアズ が現れ、
 彼が モアブ人のルツ と結婚したとき、
 彼もまた異邦人の血を受け入れることになりました。

ですから、地上の系図という意味では、

イエスもまた異邦人の血を含んでおられる ことになるのです。

そしてその二人の間に生まれた子の名は オベデ でした。

オベデには一人の息子がおり、その名は エッサイ。

そしてエッサイには一人の息子がおり、

その名は ダビデ でした。

これらすべての出来事が、

あの小さな ベツレヘム で起こったのです。

それは何を意味しているのでしょうか。

それは 主イエスの系図、

つまりその 背景 です。

ところが、それは当時の偉い宗教家たち、

あるいは 靈的だと自称していた人々には、
見過ごされていたのです。

20 そして、この同じ地で、

預言者 サムエル が ダビデ に油を注ぎ、
彼をイスラエルの王として立てたのです——

まさにここ、ベツレヘム でのことでした。

そしてダビデの系統から、

あの偉大な御子、

「ダビデの子よ」

と呼ばれるお方が現れました。

その御子は、この町の西側の丘のふもとにある、

小さな家畜小屋の飼葉おけの中でお生まれになったのです。

そしてその丘の上で、

神の天使たちが 最初のノエル(クリスマスの歌) を歌ったのでした。

さて、ベツレヘム という言葉を少し分けてみましょう。

Beth(ベト) は「家」という意味です。

El(エル) は「神」を意味します。

そして ham(ハム) は「パン」を意味します。

つまり Bethlehem(ベツレヘム) とは、

「神のパンの家」

という意味になるのです。

それならば、いのちのパン が

神の癒しを説いていたとき、英国国教会の高位聖職者の何人かがやって来て、
ジョンをからかい、キツネを放し、猟犬の群れを放しました。彼は顔に指を向けて
言った、「あなたが私のために祈るように呼びかけるまで、太陽はあなたの頭に
三度沈むことはありません。」 彼はその夜亡くなり、ジョンに祈りに来るよう呼
びかけた。

90 なぜメソジスト教会はそれを再び教会に戻さないのでしょうか?なぜ?死
んでから!右!

あなたはそのパッケージを調べるのが怖いですが、なぜならそれはあなたの
罪を明らかにするからです。メソジスト派よ、もう一度パッケージを振り返ってく
ださい。バプテスマ派に電話して、もう一度パッケージを振り返ってください。長
老派教会もペンテコステ派もカトリック教徒も、神のクリスマスプレゼントを振り
返ってください。今を振り返ってみよう!箱を捨ててプレゼントを持って行きま
しょう。

サンタクロースの飾り物から離れてください。神の賜物に戻りなさい。聖霊
に立ち返れ。ああ、多くのことが明らかになることはわかっていますが、それが必
要なのです。片付け、精練です。皆さん、それがとても難しいことはわかってい
ますが、私たちはそれを手に入れなければなりません。神の言葉です。はい 先
生。それはあなたにとって良いことです。そうだね。

ああ、そう、

91 彼らはその街を襲い、明かりが消えたとき、何か問題があることを知ってい
ました。彼らがこの宗派に加わるとすぐに、光は消えました。“どうしたの?”

彼らは叫び始めました、“彼はどこにいるのですか?彼はどこだ?きつとこ
こで彼を見つけるでしょう。これは古い宗派です。久しぶりだ。それは宗派の首
都、バチカン市国です。まあ、確かにそうすべきです... ここで彼を見つけるべき
だ。

“彼はどこにいるの?昨日も今日も永遠に同じだと言ったキリストはどこに
いるのでしょうか?夕方には光があると行った方はどこにいるのでしょうか?
「わたしが行く業を、あなたも行おうか」と言われた神はどこにいるのしょう
か?彼はどこだ?彼はどこにいるの?” そして光は消えませんでした。

彼らがそこから脱出し、街の外を歩くと、そこに再び光が現れました。

夕方には明るくなるでしょう、

の宗派の領域を歩いている限り、立ち入りは禁止されました。

“彼はどこにいるの？確かに牧師たちはそれについて何かを知っているはずですよ。ラビや司祭の皆さん、これは一体どういうことですか？そして、メソジスト、バプテスト、長老派、カトリック、そしてそのような古い教会の皆さん、確かにそれに対する答えが得られました！彼はどこにいるの？” ああ、私の！

ほら、彼らはそれについて何も知りません。そして、そこにいた人々は、そこから出るまで暗闇の中に留まりました。そして彼らが街から出るとすぐに、再び星が立っていました。栄光。

87 “私の民よ、彼女から出てきてください”と主は言われました。“バビロンから出て来い、混乱だ！自分の信条や自称から出てきてください。わたしはあなたを受け入れます、”と主は言われます。“彼らの汚れたものに触れないでください。”—教会でのビートニクパーティー、ブンコ、その他あらゆる種類のもの、ダンス。

88 少し前に母が私に電話してきて、「“ビル、少しここに来てください」と言いました。彼女は今夜ここ教会のどこかに座っていると思います。

私は降りた。私は言いました、“どうしたの？” 彼らは私をそこに呼びました。そして、ここインディアナ州には大きなメソジスト教会があり、ロックンロールパーティーが開かれていました。

そして彼らは牧師にインタビューしました。彼はこう言いました。“メソジスト教会は長い間、ロックンロールの美しい芸術を忘れていました。” 悪魔に取り憑かれた、神について何も知らない！彼らはホットtentツツがエジプトの騎士について知っているのと同じように、神についても知りません。彼らはただ...スノーシューについてウサギが言うのと同じです。あなたが知っている唯一のことが単なる神学、何らかの人工の信条である場所に来たとき！

89 聖霊の力が入ってくると、あなたは神の約束を受け入れます。神の聖霊の賜物を受け入れ、教会でどれだけのロックンロールを手に入れることができるか見てみましょう。ジョン・ウェスレーが説いた福音に立ち返り、そこにどれだけのものが含まれているか見てみましょう。人里離れた道から逃げました。バプテストのジョン・スミスのお話に戻りましょう。マルティン ルターのお元へ戻れ。でも何なんだよ？彼らは今日、超自然的なものについて何も知りません。そしてそれは正しい。

メソジスト教会は神の癒しについて何も知りません。ジョンがそこに立って

このベツレヘムから出て来られたということは、なんとふさわしいことでしょうか。

「神のパンの家」から、

いのちのパン が現れたのです。

ああ、なんと美しい物語ではありませんか。

21 それは、おそらく日が沈んで間もないころだったでしょう。

太陽はすでに地平線の向こうに沈み、空には星が輝き始めていました。

夕暮れの光も消えてから、もう二時間ほど経っていたかもしれません。

そのころ、一頭の小さなロバが、

ベツレヘムの西側の丘の裏手を、ゆっくりと登っていました。

ロバは疲れた小さな足を一步一步運びながら、

大事そうに足元を確かめて歩いていました。

というのも、その背に乗せている荷は、とても尊いものだったからです。

ヨセフはそのロバを優しく導きながら、

この小さな三人の旅人は丘を登って行きました。

彼らは一日中旅をして来たのです。

遠く ナザレ から、ここまでやって来ていました。

そしてマリアは、いつ子どもが生まれてもおかしくない状態でした。

もしかすると、もう予定の日を過ぎていたかもしれません。

22 しかし、すべてのことは神によってあらかじめ定められており、

神を愛する者たちのためには、すべてが益となるように働くのです。

その時代に、あのような冷酷な王——

血に飢えた ヘロデ がいたことさえも、神の定めの中にありました。
神はそのことをすべて知っておられたのです。

また、あの課税のこともご存じでした。

そしてこの残酷な政府が、もうすぐ初めての子を産もうとしている

あのかわいそうな母に対して、

少しの憐れみさえ持っていなかったことも、神はご存じでした。

それでも彼は命じました。

すべての者が自分の生まれ故郷に帰り、

そこで税を納めなければならない、と。

彼女がどんな状態であろうとも関係ありません。

とにかく行かなければならなかったのです。

しかし神は、そのすべてをご存じでした。

神はすべてを前もって知っておられます。

そしてすべてのことを知っておられます。

そして神は、

すべてのことを共に働かせて益としてくださる のです。

23 この小さな三人の旅人は、丘を登りながらも、何も不平を言いませんでした。

やがて、長い旅のあとで、あの小さな口バは疲れ切っていたことでしょう。

私はその様子が目に浮かぶようです。

彼らはナザレから来て、ベツレヘムの西側の丘を登って来ました。

そしてついに丘の頂上にたどり着いたとき、

そこから下の谷にある小さな ベツレヘム の町を見下ろすことができまし

83 この賢者たちは、通りを行ったり来たりしても、答えを持っていませんでした。何があった？何があった？最後に、彼らがこれに従い始めたことがわかります。彼らがそこに着いたとき、彼らは街や宗教の領域では答えを見つけることができませんでした。いいえ。彼らも今はそうではありません。エルサレム？彼らは超自然的な兆候について何も知りませんでした。“どんな超自然的な兆候について話していますか？”

“ああ、私たちは東に戻ったときに星を見ました。私たちはこれに従いました。”

“どこにありますか？見えないわ。ああ、それについては何も知りません！”

それはまさに聖書を成就させるものでした

84 しかし、彼らの宗教界には答えがありませんでした。彼らは今日それを手に入れていません。“これは異言を言っているのですか？立ち上がって病人を癒し、これらすべての奇跡やことをしているこの人々の集団は何ですか；そして叫び、泣き、そしてこれらすべての種類のこと？その聖書で彼らがしたように聞こえます。”

“ああ、ナンセンス！何も無いよ！”

彼らは超自然的なものについて何も知りません。なぜ？ここが来る。彼らは光の星、光の星、神の羅針盤に従ってその完璧な光に到達することはありません。おお！“西へ進み、今も進み続け、ベツレヘムの星よ、私たちをその完璧な光へと導いてください。” 私たちはここ西で彼の星を見ました。どんな星？彼の教会の星、人間の中で動く聖霊。私たちは神の星を見て、神を崇拝するようになりました。アーメン。それが、賢い男性、賢い女性、謙虚な心です。私たちは神の星を見て、神を崇拝するようになりました。

85 ああ、彼らは超自然的なことについて何も知りませんでした。彼らは光や物について何も知りませんでした。彼らはそれについて何も知りませんでした。確かに、それは彼らを動揺させました。今日も同じです。しかし、彼らはそれについて何も知りませんでしたし、宗教界も知りませんでした。彼らも今日それについて何も知りません。

お知らせ(これは気に入りました。ああ、これでいいんだ。)、

86 彼らが宗派の領域にいる限り、その星は彼らの前に現れることはありませんでした。それはエルサレムの門から出て、外に出ました！兄さん！彼らがそれら

81 しかし、ほら、イランのずっと下にいる貧しいユダヤ人たち、そしてさまざまな場所—“ライブ”誌で読んだことがあるでしょう—彼らは飛行機に乗りたくありませんでした。彼らはそれを見たことはありませんでした。彼らは古い木製の鋤などで耕していました。彼らは言いました。…なんと、ラビはそこに出てきて、「“ちょっと待ってください。”と言いました。私たちの預言者は、私たちが祖国に戻ったら驚の翼に乗って行くと言わなかったでしょうか？”ああ、私の！

そして彼らはやって来て、TWAの飛行機に乗り込み、立ち上がりました。預言者はそれらがモーターで動いていることを知らなかった。彼らはただ大きな驚のように見えました。そして彼らは驚のように空中を遠くまで行ったので、預言者は言いました、“あなたが戻ってきたら..”

それは二十五百年前のことです、神よ、二十五百年前、彼らがローマ人に捕らえられ、世の風に散らされたときです。彼は言いました、「“私は彼らを忘れません。”。また連れて帰ります。でも、私は彼らの目をくらませるつもりなので、異邦人は..私の名前のために人々をそこから連れ出し、私の名前を彼らに付けることができます。その日が終わったら、また集めてあげるよ。そして、彼らが家に戻ると、このようなことをするでしょう。”

そしてイザヤは彼らが立ち上がって出会うのを見て言った、「“驚の翼に乗って”。

82 その老ラビはそこに立って言いました、“私たちの預言者は、私たちは終わりの時に驚の翼に乗って家に帰ると言いました。”彼らは乗船した。

そして、彼らがそこで降りて、目が見えず足が不自由な古いものを肩に担ぎ、歩いて降りると、彼らは彼らと面談しました。テープに正しく貼りました。言った、“あなたは故郷に帰ってきて、故郷で死ぬのですか？”

言った、“いいえ、私たちはメシアに会いに来ます。”

ああ、兄弟、どうしたの？そして彼らの教会は答えを持っていません。どうしたんですか？兄弟、私たちは夕方の方が明かりが輝く終わりの時間です。聖霊の力が、最初と同じように再び教会に戻ってきました。

預言者は言いました。“夕方には明るくなるでしょう。”教会はなぜ彼らがそこに集まっているのか知りません。彼らは答えを持っていません。しかし、原爆はあそこで彼らの答えを得ています。確かにそうでしょう。しかし、私たちは夕方、思っているよりも遅い時間にいます。確かに。

た。

町には多くの たいまつ が灯されていました。

ガリラヤのあちこちから、

人々が自分たちの出生地であるベツレヘムに集まって来ていたのです。

それはローマ政府による 課税 のためでした。

人々がどんな状態であろうと関係ありませんでした。

道のあちこちには人々が散らばっていました。

病人、貧しい者、

床に伏している者、

らい病の者、

がんに苦しむ者、

足の不自由な者、

足なえの者、

盲人——

皆が来なければならなかったのです。

それは 政府の命令 だったからです。

そしてその背後には ヘロデ がいました。

だから、どうしてもそれをしなければならなかったのです。

24 そして、この小さな三人の旅人が丘の頂上で立ち止まったとき、

そこには大きな岩が一つ横たわっていたことでしょう。

私はその光景が目には浮かぶようです。

ヨセフはマリアを優しく腕に抱き上げ、

小さなロバの背からそっと降ろして、
その岩の上に腰をかけさせました。

ロバは疲れた息をつき、
大きく息を吐いていました。

それからヨセフは数歩前へ進み、
下のほうにある小さな ベツレヘム の町を見下ろしました。
すると、町の通りは人でいっぱいでした。

たいまつが炎が通りで燃え、
人々の叫び声や騒ぎがあたりに響いていました。
人々は庭や中庭にまであふれ、
町の門の外にまで広がっていました。

きっと、それは ものすごい光景 だったことでしょう。

25 ヨセフは、おそらくこんなふうに行ったことでしょう。

「マリア、いいかい、ちょっと考えてごらん。

あの町の向こう、北の方に見えるあたりだよ。

あそこが、モアブの女 ルツ が ボアズ の畑で落ち穂を拾っていた場所なんだ。」

「そしてその向こう、あの山の上のほうでは、
ダビデ が石投げを持ってライオンを打ち倒し、
その口から羊を取り戻したんだ。」

「そしてきつとこのあたりのどこかで、

ヨシュア がきらめく剣を手に立っていたんだろう。

私たちの民の勇敢な戦士だ。

“この神聖な癒しは一体何が起きているのでしょうか？” 彼らは言いません。“異言や解釈、預言、メシアのしるしなど、一体何なのでしょう？”

“ああ、それはナンセンスです。それには何もない。やめてください。… それには何もない。” ほら、彼らには答えがありません。彼らは当時それを持っていませんでした；彼らは今それを持っていません。

79 しかし、それは一つのことをしました。それが彼らの捜索の始まりでした。私たちの兄弟デュプレシスは今、そのことに取り組んでいると思います。

眠っている処女たちは石油を買いに戻ってきました。しかし、そのとき、彼らがそれを追いかけていない間に、神は来られます。では、私たちは今どれくらい近づいているのでしょうか？これらの偉大な教会が戻ってくるのを見ると、たとえば、“まあ、何かを中断したのかもしれませんが。見つけたほうがいいよ。” 彼らは決してそれを手に入れることはできないでしょう。それを覚えておいてください。彼らは決してそれを手に入れることはできないでしょう。彼らは死んだ。そして彼らは死んで、死んで、それだけです。彼らは決して生き返らないでしょう。覚えておいてください、私は主の名において話します、そしてこれはテープに記録されています。彼らは決して生き返らないでしょう。彼らは終わった。

それが私がそれらのプログラムに興味がない理由です。私は 1 つのことに興味があり、“望む人は誰でも”できるだけ激しく爆破します！宗派を復活させるのではなく、イエス・キリストを復活させましょう！はい 先生。決して宗派内ではありません。それは神に反しています—これまでも、これからずっとそうです。神を外に縛り付け、そこにある敬虔なものをすべて拒否します。決して生き返らない。ですから、今年のクリスマスは最初のクリスマスと何ら変わりません。同じ事だ。賢者は街を上り下りしています、“彼はどこにいるのですか？彼はどこにいるの？” ああ、私の！

80 ここで少し立ち止まらせてください。映画を手に入れました。今ここには持っていない。ある医者がそれを手に入れました—博士。ディリー、私の会議で治った女性医師です。そして彼女は今、“Three Minutes Till Midnight と呼ばれるテープを手に入れました。” そして、私たちが今、パレスチナにユダヤ人が彼らの国にやって来ると、主は彼らがそうするだろうと告げられました。イエスが再臨される前に、彼らはそれをするでしょう！

先日、イスラエルに行く兄弟がこう尋ねました。“そこに行ってもいいですか？” 彼らは彼を拒否した。イスラエルは個人ではなく国家としてやって来るだろう。国家が生まれるでしょう。それは国家としてやって来るでしょう。

地を通り、ああ、ああ、ずっと下っていきました！彼らは何かが起こっていることを知っていました。超自然的なことが起こりました。

76 そして彼らはどこへ来たのでしょうか？彼らは言った、「これがダニエルの預言であるなら、その国の宗教者の首都であるエルサレムの大都市は皆、王を迎える準備ができています。」私たちがそこに着いたら、彼らはそれが何なのかを知るでしょう。私たち自身も理解できません。なぜなら、私たちはただのマグー貧しく謙虚な人々だからです。しかし、私たちは何かを探していて、私たちの間に少し超自然的な何かが湧き上がってくるのを目にします。”ああ、私の！彼らは準備ができていました！ハレルヤ！彼らは謙虚な人たちよ、神の星の使者を見つけるために出かけました。彼らは完全な光に到達するまで神の星の使者に従うつもりでした。

77 おお！

黙示録 1 章 20 節には、これらの教会の星々はこう書かれています。。私たちが今日すべきことは、その星の光を見つけることです、アーメン、それは神の栄光を反映しており、神の力を反映しており、神の神性を反映しており、その完璧な光が見つかるまでそれに従ってください。“西へ進み続け、前進し続け、私たちをその完璧な光へと導いてください。”ああ、値段がいくらであっても、山を越えて、ジャングルを通して、他の場所でも動き続けてください。

78 そしてついに彼らはエルサレムに到着しました。そして、彼らがこの偉大な大宗派の教会に到着するとすぐに、スターは彼らのもとを去りました。奇妙な！彼らは思いました、“それはここにあるに違いありません。”それで彼らは街の上下に行き、あらゆる路地で歌い、叫び、通りを下っていきました、“ユダヤ人の王として生まれた彼はどこにいるのですか？私たちは東洋で彼の星を見て、彼を崇拝するようになりました。彼はどこにいるの？”

奇妙なことに、彼らは自分たちのサークル内で答えを持っていませんでした。ああ、もうほとんど異言を話すことができました！彼らは答えを持っていませんでした！彼らは当時答えを持っていませんでした；彼らは今それを理解していません。彼らは知らない。賢者たちは自分たちの宗教の輪の中にイエスを見つけられませんでした。彼らはそれを自分たちの宗教の輪の外で見つけました。

そして、今日の賢者、心の賢者は、これらの大きな宗派にはそれを見つけられませんが、彼らはそれについて何も知りません。彼らは答えを持っていません。

彼がこの地を分けて、

この相続地を ユダ族 に与えたんだ。」

「そして、愛しい人よ、

私たちはそのユダ族の系統なんだ。」

そんなふうには、ヨセフはこれまでこの地で起こった出来事を、

一つ一つマリアに語って聞かせていたことでしょう。

26 そしてヨセフは、後ろから何の音も聞こえないことに気づき、

彼女がまだ岩の上に座っているかどうか確かめるために、振り返ったことでしょう。

振り向いたとき、

彼はマリアの美しい顔が空のほうへ向けられているのを見ました。

しかし、もう何も尋ねる必要はありませんでした。

なぜなら、その星の光が、彼女の目に映って輝いていたからです。

ヨセフは、彼女が何かを見つめているのだとすぐに分かりました。

するとマリアは彼のほうを見て言いました。

「ヨセフ、あそこにかかっているあの星に気づきましたか。」

ヨセフは驚いて空を見上げながら言いました。

「いや、今まで気づかなかったよ、マリア。」

すると彼女は言いました。

「日が沈んでからずっと、あの星は私たちを追って来ているの。

私はずっと見ていたのよ。

きっと何か意味があるのだと思うわ。

だって、とても不思議で、素晴らしい感じがするの。」

ご存じでしょう。

神は時々、御自分の民のために、そのようなことをなさるのです。

光を示してくださったり、

あるいは何かの方法で、

神が近くにおられること、そして今この場におられることを私たちに知らせてくださるのです。

たとえこの世が何と言おうと、

またどんなことをしようとも、

神はなおそこにおられます。

そしてすべては大丈夫なのです。

神はそれを 聖霊によって証ししてくださり、

私たちはそれを心で感じる事ができるのです。

27 するとヨセフは、こんなふうと言ったかもしれません。

「マリア、知っているかい。

私は今までの人生で、こんなに幸せだと感じたことはないんだ。」

「ローマ政府にあちこち振り回されて、

こんなふうの旅をさせられているというのに、

それでも今ほど幸せだと感じたことはない。

どうしてなのか、自分でも分からないんだ。」

「今夜、この小さな町には、

何か神聖な雰囲気漂っているように思えるんだ。」

「ここは、私たちがまだ少年少女だったころ、

十代のころや学校に通っていたころに、

であると認識していると述べました。。あそこにいる賢者たちを見て、神の星の賜物を見て、エルサレムの神殿の祭司たちの前で、宗教的な人々の間でそれを認識しました。はい 先生。アーメン。

73 賢者たちよ、ある夜、彼らが聖なる火の周りに座っているのが見えます(私たちにはほんの少しの時間がありますか?ええ。)、その神聖な火の周りに座って話しています。それから彼らは上がっていきました。ああ、彼らは天体を研究しました。彼らは彼ら全員をよく知っていました。彼らはあらゆる動きについて知っていました。それで、ある夜、彼らがそこに座って賛美歌を歌っている間に、彼らはこの素晴らしいことに立ち上がって勉強しました。彼らは天体を研究していたので、すべての星、それがどこに留まっているか一名前を知っていました。

そして、その天体の中の見知らぬ人が彼らを動揺させたのも不思議ではありません。“さて、”彼らは疑問に思いました、“この新しい男は誰ですか?ああ、私の!ここで何か新しいことが起こりました。超自然的だ!”何に呼んだんだ?聖書に戻りましょう!

74 さて、彼らは聖書を知っています。なぜなら、ダニエルが彼らの首長だったからです。それは分かっているだろ。ダニエルの第2章には、ダニエルが彼らの長に任命されたため、彼らに教えたと書かれています。間違いなく、ある夜、彼らはそこに座って聖書を読んでいた。そしてダニエルはこう言いました。…彼はこれらすべての王国を見て、最終的にそれらが元の状態になるまで—それぞれ、メド・ペルシア人、そしてローマに入るまで下っていきました。そしてついに彼は、手のない山から切り出された石を見た。そして彼らは言いました、“それはその頃に違いありません。”

それから彼らは、ずっと昔のリハーサルを思い出しました。..それ以前、イスラエルの旅の時代に、彼らがやって来てバラムの言うことを聞いたとき。..彼はイスラエルを見て言った、「ヤコブから星が昇るでしょう。」アーメン。彼らがそれらのことを考えていた頃、新しい訪問者が現れたに違いありません。

75 キリストのことを心に留めているとき、キリストはあなたのところにやって来ます。それは通常、神が現れたときにあなたが神のことを考えているときです。ご存知のとおり、あなたが正しく行動すること、正しいことをすることを考えているとき、そのとき神はあなたを助けるためにあなたのところにやって来ます。

そして、それはその頃だったに違いありません、そして彼らは顔を上げてこの新しい訪問者を見たに違いありません。そしてそれは彼らを西へと導き始めます。彼らはすぐに西へ進み始め、チグリス川を渡り、砂漠を通り、山を越え、沼

はそこに横たわり、羊たちと一緒に寝ました。そして、同じパレットの上で、そして..むしろ同じ地面で、羊が来るのと同じように匂いを嗅ぐことができるまで羊の世話をしました。

羊飼いが羊を飼い、羊と一緒に戸口に横たわり、羊たちの間に横たわっていることは誰もが知っています。イエスは言いました。“私は羊小屋への扉です。” 聖地、いやオリエントにいるまで、私はよくそれがどんな感じなのか不思議に思っていました。羊飼いが羊を中に乗せて、ドアに横たわる様子を知りました。羊たちは彼の上を渡らずには外に出ることができません。オオカミは彼を越えずに入ることはできません。彼はドアです。

70 イエスが私たちの心の扉に横たわってくださったことを嬉しく思います。We can't go out or do anything without Him knowing it; or nothing can come in without Him knowing it. 私たちは、彼がそれを知らないと、外出したり、何かをしたりすることはできません。ですから、神は、神を愛する人々にとって、すべてが良い方向に協力するようにしてください。それは私たちを泣かせ、叫び、神を賛美し、こう言うべきです。“私たちの心の入り口に横たわる救い主、羊飼いを神に感謝し、何か近づいているときに私たちに警告してください。その準備をしてください。” はい。

71 国中をずっと横切っていたのは、謙虚な賢者たちでした。彼らは“賢者” 星空観察者と呼ばれていました。少し前に私が東部にいたとき、彼らは今でも同じように座っています。彼らはとても貧しいタイプの人々です。彼らは3人で行きます。彼らは通りに座っています。ビリーと私は... そこインド、そこに戻ると、彼らはインドから来ています。

今、彼らは言いました、“私たちは東で彼の星を見ました。” 星を見たとき、彼らは東にいました。エルサレムは西にあるので、パレスチナはインドの西にありました。そこで彼らは東にいる間に神の星を見て、神を崇拝しにきました。

72 さて、この賢者たちは決して平らに座ることはありません。彼らはただ身がかがめて、昼間ずっとそこに座っています。夜になると大きな塔が建てられました。彼らはそこに行ってこの塔に滞在します。彼らは火を焚き、国々、王国の崩壊、帝国の衰退について話します。彼らは唯一の真の神を崇拝します。そうだね。彼らは信者です。彼らはイスラム教徒です。実際、それはダニエルの時代に遡るメド・ペルシア人から生まれました。そして彼らは...

そしてペテロは使徒行伝 10 章 35 節で、神は人や国家を尊重するのではなく、神を畏れるすべての国民、そして神を畏れるすべての人を尊重する方

一緒に歩き回ったあの町なんだからね。」

- 28 ずっと東のほう、そこから何百マイルも離れた場所では、博士たちはすでに旅の途中にありました。彼らは その星 を見たのです。そして神がこの世に送ろうとしておられる小さな贈り物の包み を拝むために、やって来ていたのです。それからほどなくして、この世界は、これまでに受け取ったことのない最も偉大な贈り物 を受け取ることになります。それは 小さな包み でした。包まれた小さな贈り物です。世界で初めて包まれた クリスマスの贈り物。神ご自身がそれを包まれたのです。ここで、私の話を少し中断して、一つ言わせてください。人間の肉体の中に包まれた最も偉大なもの——それは 神ご自身 でした。神はご自分を クリスマスの贈り物の包み の中に包み、この世界へと送られたのです。では、なぜ人々はそれを拒んだのでしょうか。なぜ彼らはそれを見ることができなかったのでしょうか。なぜそれを受け入れなかったのでしょうか。

なぜそれを欲しがらなかったのでしょうか。

その理由は、今夜も同じなのです。

それは、その贈り物が

彼らが慣れている形で渡されなかったからです。

人々が普段、贈り物を受け取る方法とは違う形で

それが与えられたのです。

だからこそ、今夜でもなお

それは拒まれているのです。

人々が慣れ親しんできた形では

与えられていないからです。

しかし 神は、ご自分の贈り物をご自分の方法で包まれるのです。

神にはそうする権利があります。

なぜなら、その贈り物を与えるのは 神ご自身 だからです。

神は、それを どんな形に包もうと自由なのです。

それがどんな姿であろうと関係ありません。

贈り物を与えるのは神なのですから、

神にはそれをどのように包むか決める権利があるのです。

29 もう一つ理由があります。

当時もそうでしたが、

人々はそのような包み方で贈り物を受け取ることに慣れていなかったのです。

彼らは、ある贈り物を待ち望んでいました。

それは、天から戦車に乗って降りて来るようなもの、

たと一緒に食事をし、あなたも神と一緒に食事をします—あなたの心をノックするあの小さな荷物は、これまでで最高のクリスマスプレゼントでした。最初のもの、そして最大のもの—男の心をノックする小さなパッケージ。“入って行って食べます。”

それが明らかになるまで、あなたはそれを知ることはないでしょう。それが明らかになったら、あなたはそれを探しに行くでしょう。

66 それが人生であり、唯一の生き方であることがわかったとき;あなたの教会が乾いて死んでいるのを見たとき;牧師との握手や塩シェイクを振りかけることがそれとは何の関係もないのを見たとき、あなたは調査に行くでしょう。

あなたがベッドに横たわって死んでいるとき、医者はいこういいます、“あなたには何も残っていない、数分以内に死ぬでしょう”そのとき、そのパッケージを調べたいと思うでしょう。今夜それを調べてください、そうすればあなたから返されるからです。聖書はこう言っています。“もしあなたが健康だった時代に私を拒絶するなら(今のよう)、災難が来たら、私はあなたを笑うだけです。”だから今夜荷物を調べたほうがいいよ。

67 これは一体何なの?光、天から来る神聖な光、写真を撮られること、大きなしるし、識別力、力、異言で話すこと、解釈、これから起こることを語ること、福音の力、病人を癒すこと、癌を摘出して癒すこと、目が見えなくなること、これらすべて、それは一体何なののでしょうか?

“まあ、それは聖なるローラーの集まりです!” 気をつけてください、それはおくるみの布です。そうかもしれません。

バラムもそうでした。神はイスラエルのような民を呪わないだろうとどうして彼は思ったのでしょうか?しかし、彼は見るができなかった。彼は、打ちのめされた岩や彼らの前に行く真鍮の蛇を見る代わりに、おくるみの布を見て償いをしました。

68 今日もそうです!聖霊の力がメシアのしるしを行い、終わりの日に約束したように人々の間で不思議なことをするのを見る代わりに。。彼が言ったように、“ロトの時代と同じように、人の子の到来にもそうなるでしょう。”神が人々の間でそれらのしるしや不思議を行い始め、生きていられるご自身を示されるとき(それは何ですか?) 貧しい人々や謙虚な人々の中で、彼らはそれを狂信と呼び、追い出します。行き過ぎる前に調査したほうがいいです。はい。

69 この臭い羊飼いたち、人々は彼らをほとんどそばに置かないでしょう。彼ら

あなたが預言者なら、誰があなたを殴ったのか教えてください”と言いました。そして十字架にタックしました。手を差し伸べるのが大好きです。

自分の子供たちが..自分の血を求めて泣いているとき、神は叫びました、“父よ、彼らを許してください。彼らは自分たちが何をしているのかさえ知りません。”それは愛です。

教会はそれを望んでいません。彼らは信条を望んでいます。愛が必要だ。教会は信条によって滅びつつあります。愛は永遠の命なので、愛によってのみ生きることができます。愛は万物を克服する。愛は最も強力な力です。いいえ、彼らは贈り物に何が入っているかを知っていたので、神を望んでいませんでした。

64 しかし、彼らの中には、この贈り物が何であるか、その中に何が入っているかを明らかにさせた人もいました。彼らの中にはそれを調べた人もいました。そのクリスマスパッケージを最初に調べた人たち、それが誰だったか知っていますか？天使だったと思う。天使たちはそれを知っていました。それは彼らに明らかにされました。彼らは丘の中腹に出てくるので、それを知っていました。

おそらく、そこに座っている小さなメアリーが、疲れて埃っぽく、羊のような悪臭を放つ哀れな年老いた羊飼いの少年がやって来て、その夜そこに座っている小さな母親を見た、何か意味があるのでしょうか。今日の人々が何かが起こることがわかるのと同じように、途方もない時代、人々はどちらに転向すればよいのかわかりません。もしかしたら、年老いた羊飼いの少年がやって来て、その小さな母親を見たのかもしれない。何か彼を襲った。彼は言いました、“このフラスコには冷たい水が入っています”。飲み物だけ飲みたいですか？”そして、小さな家族は、水を飲んでいて小さな母親になる彼に感謝しました。

65 おそらくそれは、その夜、小さな羊飼いの一人がその丘に横たわっていたとき、馬小屋で小さな赤ちゃんが泣いていたときだったのでしょ。ああ、そして世界には彼の居場所はありませんでした。誰も彼を望んでいませんでした。しかし同時に、羊飼いが丘に出て、天使たちが降りてきて、最初のノエルを歌い始めました。“今日、ダビデの町で、救い主キリストがあなたに生まれました。”明らかになった。

それが、世界中の誰もがそのパッケージに何が入っているかを知る唯一の方法です。それはあなたに明らかにされなければなりません。断って狂信だと言うでしょう。しかし、啓示を得たら、それを探し求め、それを開くでしょう。そして、あなたがドアを開けて神を中に入れる準備ができたなら、神が入ってきてあな

天使が護衛となり、火の馬を御するような姿で現れるものを期待していたのです。

しかしそれは、

飼い葉おけで生まれた一人の小さな赤ん坊として来ました。

そのとき彼らは気づきもしませんでした。

聖書にはこう書かれていたのです。

「わたしはこの世界に 一つの大いなるしるしを与える。」

ある日、人々はしるしを求めました。

すると神は言われました。

「わたしはあなたがたにしるしを与えよう。

それは 最高のしるしとなる。

すべての時代を通して続くしるしである。」

「一人の処女が身ごもり、子を産む。

その子は男の子であり、

その名は『インマヌエル』と呼ばれる。」

「それが 最高のしるしである。

それが、わたしが与える贈り物である。」

しかし、それは

人々が期待していた形では来なかったのです。

そのため、彼らはそれを拒んでしまったのです。

30 ですから、今夜も同じことなのです、兄弟たちよ。

神の贈り物は、人々が望んでいた形では来ませんでした。

それで彼らはそれを拒んでしまったのです。

人々はそれを欲しがりません。

彼らは、自分たちが望むような包み方で

その贈り物が包まれていることを望むのです。

彼らはそこに 飾りを付けたがる。

華やかなものを求めるのです。

香りのするもの、

きらびやかなもの、

上品で格式ばったもの——

そういうものを望むのです。

しかし神は、いつもそのような形で贈り物を送られるわけではありません。

神はそれを 力の中で、

ご自身の望まれる方法で 送られるのです。

31 もう一つの理由があります。

それは、その贈り物が 貧しい人々によってもたらされた ということです。

マリアとヨセフ——

そう、マリアとヨセフはとても貧しい人々でした。

彼らはいわば 農民のような身分 の人たちでした。

そしてその贈り物が、

そのような貧しい人々を通して与えられたために、

人々はそれを受け取りたがらなかったのです。

今も同じことです。

教会へのこの偉大な贈り物——

彼の脇腹が引き裂かれ、血が..彼の背中から流れ出て、彼の頭の上に流れ落ちました。彼のひげと足から落ちました。しかし、彼は何をしていたのでしょうか？彼は愛を反映していた。彼は十字架を抱きしめた。柔らかい羽毛枕の代わりに、わらの飼い葉桶；着る小さなピンクのガウンの代わりに、おくるみの布。

61 ああ、兄弟よ、愛の深さが分かりますか？

先日、自宅で何人かの人と話していました。神の愛がどれほど深いかを改ざんする人は誰もいません。それ“ああ、神の愛、なんと豊かで、なんと純粋なことでしょう！”その最後の詩、あるいは最初の詩は、狂気の施設の壁で発見されたと私は信じています。

海をインクで満たせば、

そして羊皮紙の空は作られました；

地球上のすべての茎は羽ペン、

そして、すべての人は職業は書記官である

上に神の愛を書くこと

海を干上がらせるだろう

巻物には全体を含めることもできませんでした、

空から空へと伸びていますが。

62 地球上にあり、羽ペンを作っている茎のことを考えてみましょう。そして、何十億人も男性が本業で筆記し、5つの小さな文字、love(つまり、4つの小さな文字、愛)を書くために、地球の5分の4が水の中にあるとき、神の愛は海を干上がらせるでしょう。私が向こうのパロマー山に立ってそのガラスを通して見ると、1億2000万年の光空間が見えました—また、空から空まで伸びていたにもかかわらず、巻物に全体を入れることもできませんでした。

63 神の愛！

神がどのようにご自身を展開し、クリスマスのパッケージが届いたかがわらの上に置かれました。イエスが最初に持っていたのは、小さな頭に藁を押し当て、汚れた布をイエスの周りに巻き付けることでした。彼が最後に持っていたのは、汚れた雑巾を目に巻き付けたとげの冠でした。そして頭を殴って、「もしあ

かし、神は福音を全世界に伝える12人の男性を訓練していました。そこで神は彼らのためにご自身を聖別されました。“私は彼らのために自分自身を聖別します。” 神の賜物、自らを聖化し続けること!

ああ、神の賜物よ、神の御霊を受けたと主張する人々よ、自分自身を聖別してください。世の中のものから遠ざけてください。聖化される。おお!

57 このギフトパッケージに何が入っているか誰が知っていましたか?その中に何が入っているのか知った人はいますか?あったのがとても嬉しいです。誰が知ってた?それは隠されたもの、拒絶された石でした。しかし、そこに何が入っているのかを知った人がいました。とても嬉しいです。

私は物事を探すのが好きです。そうじゃないの?私はナゲットを掘り出して磨き、中身を確認し、ガイガーの前に置くのが好きです。

58 彼はカルバリーでもガイガーの前に置かれた。彼は百パーセントだった。確かに、彼はそうでした。彼らがこれまでに見つけた中で最も偉大な金、これまでで最も高価なダイヤモンド。.. 聖書には、天の王国はダイヤモンドを買う人のようなものと言われています。そして、この素晴らしいものを見つけたとき、彼はそれを手に入れるため、買うためだけに他のすべてのものを売りました。彼は、地球の塵からこれまでに持ち出された最大のカーレートダイヤモンドです。土からこれまでに持ち出された最大の金。彼は宝石であり、天の宝石であり、大きなダイヤモンドです。

59 南アフリカで大きなダイヤモンドが見つかったとき。... 私はキンバリーの大きなダイヤモンド鉱山を通ったことがあります。そして彼らはダイヤモンドを取り出し、それを生のまま塵から取り出すと、それを削り取ります。そして、彼らがそれらをチップ化し、切断する理由は、光を反射し、その(そのカラット)の光を消して、そのダイヤモンドに何カラットがあるかを示すためです。火と輝きがありません。なければ、ダイヤモンドはあまりありません。でも、それが..ガラスであるときは。しかし、それが本物のダイヤモンド、本物のカラテッドダイヤモンドの場合、それは反射し、さまざまな色を示します。

60 それが彼だった。彼はダイヤモンドだった。“そして彼は私たちの罪のために負傷しました。彼は私たちの不法行為で打撲傷を負いました。私たちの平和の懲罰は神の上にあり、神の縞模様によって私たちは癒されました。” ああ、それらは神の愛と光の光線であり、神—治癒力、愛、復活から反射します。

神は彼を傷つけ、傷つけ、切り刻み、ローマの剣とローマの鞭で切りつけ、

聖霊が、貧しい者やへりくだった者の上に下るとき、裕福な人々はそれを望みません。

彼らはそれを受け取りたくないのです。

なぜなら、彼らは自分を低くすることを望まないからです。

彼らはそれを格式のある形で受け取りたいのです。

しかし、神が送られる方法では受け取りたくないのです。

多くの人は聖霊を受けたいと思っています。

しかし自分の望む方法でそれを受け取りたいのです。

しかし、ああ、私はとても嬉しく思います。

そのような方法では受け取ることができないからです。

私たちは、神がそれを送られる方法で受け取らなければならないのです。

そして、へりくだってそれを受け取らなければならないのです。

32 それは、上等な亜麻布に包まれていたのではありません。

産着に包まれていたのです。

そして、私が聞いているところによれば、

イエス—キリストを包んでいたそのものは、

家畜小屋に掛けられていた牛のくびきの後ろの部分の布 だったということです。

つまり、あの産着というのは、

牛がくびきを引くときに首が擦れて傷にならないよう、

そのくびきに巻きつけておくぼろ布のことだったのです。

彼らには、この子に着せる服が何もなかったのです。

何一つなかったのです。

ああ、そのことを思うと、
 私は胸が張り裂けそうになります。
 エマヌエル——
 天と地の創造主に、着せる服がなかったのです。
 この方に着せるものが何もなく、
 ついには、牛がその首を通して働いていた
 あのくびきのぼろ布に包まれなければならなかったのです。
 ああ、何という大いなるしるしでしょうか。
 33 それは本来、人々の心を強く引きつけるものであるはずでした。
 小さなエホバが、赤ん坊のように泣いておられる。
 神が、一つの包みの中で肉となっておられる。
 あらゆる空間と時間をおおっておられる神——
 この世界が存在する前から、
 星が存在する前から、
 分子一つ存在する前からおられたその神が、
 ご自分を 小さな包み の中に包み、
 家畜小屋の飼葉おけの中に置かれたのです。
 そこは、牛や羊の糞があり、
 そうしたものがその小屋の上や周りにあるような場所でした。
 そしてその小さな飼葉おけの中に、
 わらか干し草の上に、
 エホバ が横たわって、

50年間、アメリカで聖霊が降臨していることを試みてきました。彼らは50年間それを拒否してきました。そして今夜はこれまで以上に黒く暗くなっています。

54 そして、それが最初に降りかかった人々に対しても、彼らの子供たちはそれを組織して命名し、組織に巻き込み、ついには父親が受け取った神そのものを拒否するようになりました。彼らは自分たちがペンテコステ派であると主張しています。お。

いいえ、納屋に住む雌豚が馬になるわけではありません。いや 確かに。ペンテコステ派の教会、バプテスト、長老派、その他何かに所属する男性からクリスチャンを作るのと同じです。彼は回心するまで罪人です。そして、彼が回心したとき、彼は神の御霊から生まれ変わり、変わりました。そして彼はキリストを受け入れ、聖霊が入ってきて彼を新しい生き物、新しい創造物にしました。

55 Then, they refused it then; they refused it now. その後、彼らはそれを拒否した。彼は彼らのお金のテーブルをひっくり返しました。彼は彼らの理事委員会、牧師委員会を引き渡すことになる。彼らはボードを大丈夫に手に入れるでしょう。ああ、もし神が今日教会に来たら、なんと大きな違いがあるでしょう！

しかし、彼は入ることができない。先日の夜、私たちはこの教会時代に、ご自身の教会によって追い出された神を見つけました。ドアに立ってノックし、再び戻ろうとしている一慈悲深い父よ、ご自身の民によって追い出された後、再び教会に戻ろうとしている。彼は言いました。“七つの金の燭台の真ん中を歩くのは私です。”

そして最後の教会時代には、ここで神は外側にいました。彼らは彼を追い出したのです。どこ？このラオデキアの時代に一再び立ち、自分の玄関、自分の教会に戻ろうとしています。なんて哀れなこと。それは聖書が描く最も哀れな絵の一つで、黙示録の第2章(正確には第3章)、それがキリストによって追放されたことです..

56 もう一つ哀れなことがある。イエスがこれまでに言った最も哀れな言葉の一つは、イエスがこう言われたときだったと思います。“父よ、私は彼らが聖化されるために自分自身を聖別します。”言い換えれば、彼には権利があったのです。男だった。彼には家に対する権利があり、家族に対する権利がありました。

彼は人間でした、あなたや私と同じくらい人間でした、そして私たちと同じくらい彼の男らしさにおいて人間でした。彼にはそれに対する権利があった。し

話的なものはあるでしょうか?そんな事は一度もなかった!子どもたちに嘘をつくと、判決当日にあなたが責任を負うことになります。はい。

人々が何をすべきか分からないのも不思議ではありません!彼らはただ本物を望んでいないだけです。彼らは人工的なものは何でも受け取りますが、本物は望んでいません。彼らは神の賜物を望んでいません。ああ、私の!確かに。彼らはイエスを望んでいません、それは一つの事です。

52 ここに手紙が送られてきました。彼らがイエスを望まなかった理由の一つは、イエスが彼らの神殿に入り、神殿で彼らの汚物を見つけたとき、テーブルをひっくり返して両替商を追い出したからです。彼はそれを片付けた。

そして、もし彼らが聖霊をこの辺りの大きな教会の一つに入らせたら、聖霊はそれを掃除するでしょう。つまり、彼らはそれを受け入れることができないのです。そうすれば、彼らはギャンブルをやめ、ロックンロールパーティーを止め、ここクラークスビルのハワードパークでメソジストの説教者がしたように、ビートニクとして自分たちの写真を新聞に掲載することになるだろう。

今ここに兄弟が座っています。もし彼が髪をとかさなかつたら!神の僕である人は誰でも、自分の写真を新聞に載せて、教会でビートニクパーティーを開いてください!もしジョン・ウェスリーがそれを知っていたら、墓の中でひっくり返るだろう。なぜ?彼らはジョン・ウェスレーが知っていたキリストを断り、ビートニクを受け入れました。彼らはビートニク宗教を信仰していました。彼らにはビートニクの子供たち、ビートニクのパパ、ビートニクのママ、ビートニクの大統領が延々という。だから、ただ進み続けるだけです。ああ、なんて恥ずべきことだろう!

なぜ?彼らは本物を拒否します。

53 神は、彼らを強い妄想に引き渡し、嘘を信じてそれに呪われるだろうと言いました。神はそうするだろうと言われました。あなたは正しいことを拒否し、間違えなければなりません。他に方法はない。あなたは右に行くことを拒否します、あなたは左に行かなければなりません; 右以外の別の方法に行きます。したがって、善悪を同時に行うことはできません。

彼らが聖霊を拒否したとき、彼らはキリストを拒否し、神の計画を拒否し、使者を拒否し、すべてを拒否しました。したがって、彼らは罪の中に残されます。その時は判断以外に何も残っていない。

ベン兄弟、そうです。まさにその通りです。彼らはキリストを拒否しました。彼らは彼のプログラムを拒否しました。彼らは神の御霊を拒否しました。彼は

赤ん坊のように泣いておられたのです。

あなたには、それが想像できますか。

34 そうです、裕福な人々は、そのようなものなど少しも望みませんでした。

あまりにもへりくだったものは、彼ら自身の考えを汚すもののように思えたのです。

しかも、それが一人の若い娘、

ただの貧しい田舎娘のような者によってもたらされたのです。

しかも近所では、どこか熱狂的な娘だと思われていたような娘です。

そしてまた、一人の大工によってもたらされたのです。

その大工も、おそらく読み書きがやっとできるほどの者だったでしょう。

そんな者たちが、どうして

名のある人々の目を引くようなものを生み出せるというのでしょうか。

どうして彼らが、

富んだ者たちや高慢な者たち、

また当時の諸教派の人々を喜ばせ、満足させるようなものを

差し出せるというのでしょうか。

ですから、それはきっぱりと退けられてしまったのです。

35 それは、あの時代だけのことではありません。

この時代でも同じように、人々はそれをきっぱりと拒んでいるのです。

それが、自分たちの望むような包み方で来ないからです。

だから彼らは、それを退けてしまい、

「そんなものには何も無い」

と言うのです。

そうして、富んだ者たちも、諸教派も、
その贈り物を拒みました。

彼らはそれと何の関わりも持とうとしなかったのです。

なぜでしょうか。

なぜそんなことをするのでしょうか。

それは、その贈り物が

彼らの信条の習慣に従って包まれていなかったからです。

だからこそ、今日でも人々は

神の贈り物を欲しがらないのです。

この アメリカ合衆国 は神を求めています。

これらの 教会 も神を求めています。

彼らが欲しがっているのは サンタクロース です。

飾りのついたもの、赤い色のもの、

明るくきらびやかなものを求めているのです。

しかし彼らは、

福音の真理 を、

また キリスト・イエスの力と復活 を拒んでいます。

それは、彼らの信条には包み込めないからです。

キリストを信条の中に包み込むことはできないのです。

36 今朝早く、母のところへ向かう途中で、私はラジオを聞いていました。

すると、ある教会が、いわゆる「使徒信条」というものを引用し、語っていたのです。

しかし、そんなものはありません。

なぜ、国連は彼を望んでいないのでしょうか。彼らは神の考え以外の世界中のあらゆる考えを受け入れますが、決して祈りを捧げません。彼らのセッションでは祈りは行われません。古い表現は通りからのものであるため、彼らはただそこに入って“犬が犬を食べる”だけです。彼らはキリストを望んでいません。彼は彼らのプログラムを変更する必要があるだろう。したがって、彼らは彼を望んでいません。They didn't want Him then; they don't want Him now. 彼らは当時彼を望んでいなかった。

49 教会は神が彼らの信条に同意しなかったため、神を望んでいませんでした。彼は彼らに、彼らは..こう言った、“あなたたち毒蛇の世代、あなたたち白い壁。”彼はそれらを考えられるすべてのものと呼びました。ヘロデ老人に言いました、「“あのキツネに伝えに行きなさい..”」そしてキツネより汚いものは何でしょうか？汚い老キツネよりも臭くて卑劣なもの何か？イエスは、“それが彼です。”と言われました。そこで、神は黒を“黒、”、白を“白と呼びました。”彼は間違っている、“間違っている、”、正しい、“正しいと呼びました。”つまり、彼らはそれを望んでいなかったのです。

今日の教会は、聖霊に満ちた牧師を望んでいません。それはあなたを本当に疲弊させ、何が正しくて何が間違っているかを教えてくれるでしょう。彼らはそれを望んでいません。彼らはすぐに彼を解雇するだろう。執事委員会が集まって彼を遠ざけます。別の人々が彼らの信条について話すでしょう。

兄弟よ、私はキリスト以外の信条も、愛以外の律法も、聖書以外の本も知りません。それが必要なのです。それが教会に必要なことです。

50 しかし、人々はそれを望んでいません。そこで彼らは、管財人や執事委員会に参加して、好きなように良い牧師になれるまで、教会をこれらの宗派に包み込みました。しかし、彼らは神を変えることはできません。それは確かなことの一つです。神は神であり続けるでしょう。彼らは彼を歓迎しないだろう。彼らは友人や政治家などを歓迎しますが、キリストは歓迎しません。

彼らはいつでもサンタクロースを飼いたいと思っています。世界は乗っ取られる。サンタクロースが引き継ぎました。そうですね、小さな子供たちはクリスマスが何を意味するのかさえもう知りません。

51 彼らはイースターが何を意味するのか知りません。それはイースターバニー、ウサギの一種、または小さな黄色い色の鶏、または何かです。復活は、最も汚い鳥である鶏と何の関係があるのでしょうか？鶏より汚いものって何？そして彼らはそれをそこに置き、キリストの代わりを務めます。サンタクロース以上に神

に走ったり、1日に4、5箱のタバコを吸ったり、酒場の周りをぶらぶらしたり、普通のバープライを見たりしてください。そして彼らは、イエス・キリストと呼ばれるパッケージに包まれた神の贈り物を受け取ったら、それが彼らの世俗的な楽しみのもので台無しにしてしまうことを知っています。なぜなら、神はそれを支持しないからです。それは彼らに何かをします。人を変えるのです。人々は変わりたいくないのです。彼らはむしろ.. “放っておいて!”

46 それは私に悪魔に取り憑かれた男を思い出させます。。イエスはガダラへ行かれた。そこには二千匹の悪魔を宿した男がいた。そして彼らは言いました、「“私たちはあなたと何の関係があるのですか?”」なぜここに来るの?私たちの土地を離れてください。私たちはあなたをここに望んでいません!” 彼らは放っておかれたかったのです。人々はイエスよりも悪魔と一緒にいるほうが家にいるような気分でした。そこで彼らは言った、「“私たちの土地から出て行きなさい”。私たちはあなたをここに望んでいません!”

かわいそうな老軍団、助けを求めていたのは彼だけだった。彼はいつも彼を望む人々のところにやって来ます。神は神を必要とする人々のところにやって来ます。つまり、助けられたのは彼だけだったのです。私はよく、天国に着いたら、ガダラでの養豚業者に対する彼の証言がどれだけ重視されるか見てみたいと思っていました。豚の群れを失うことになるなら、彼らは復活を望まなかった。

47 もしそれが人々に何らかの損害を与えるのであれば、彼らはそれとは何の関係も持ちたくないのです。それが今日の姿です。もし、バンコパーティーや大事な時間、葉巻、下ネタ、その他あらゆる汚物や世界のものを失うことになるなら.. 彼らがそれを望まない理由は、何か一キラキラがたくさん付いた大きな社会名がかかるからです。

しかし、それは小羊のいのちの書に書かれた、消え去らない名前を与えるでしょう。だからあなたはあなたの選択を取ります。あなたは自由な道徳的主体です。ああ、神のクリスマスプレゼントを受け取ってください、それがあなたへの私の祈りです。

48 はい、彼らはそれを望んでいません、なぜならそれは彼らに何かをすることからです。それとも、政府はそうでしたか?政府は彼を望んでいなかった。ヘロデは彼を望んでいませんでした。いいえ先生。なぜ?彼はプログラムを変更するつもりだった。そして政府は今日彼を望んでいません。私たちはキリスト教国家であるはずで

そのようなものは存在しないのです。

使徒たちが知っていた唯一の信条というなら、

それは 使徒行伝 2章38節 にあるものです。

「悔い改めなさい。そしてあなたがたひとりびとりが、罪の赦しのために、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、聖霊の賜物を受けるであろう。」

私が聖書の中で見る限り、

彼らが用いた信条というものがあるとすれば、それが唯一のもので

そのほかのものは、人が作った信条 にすぎません。

そしてあなたは、

キリストを長老派の信条の中に包み込むことはできません。

バプテストの信条の中にも、

カトリックの信条の中にも、

ペンテコステ派の信条の中にも、

包み込むことはできないのです。

キリストが包まれることを望まれる唯一のもの——

それは あなたの信条ではなく、あなたの心 です。

キリストはあなたの 心 を求めておられるのです。

そこには、キリストがあなたと共に働くことを望まれる

支配の塔 があるのです。

そしてあなたを 永遠のいのち へと導こうとしておられるのです。

キリストは、ただの信条を受け入れられることはありません。

そしてあなたも、キリストを信条の中に包むことはできないのです。

その時もできませんでした。

今もできません。

そしてこれから先も、決してできるようにはならないのです。

37 ですから彼らは、それを受け取ることができなかつたのです。

なぜなら、神の贈り物よりも、自分たちの信条のほうを大事にしていたから
です。

今日もまったく同じです。

人々は、自分たちの教会で 異言 を受け入れることができません。

そんなことをしたら、自分たちの信条が壊れてしまうからです。

彼らは 神の癒し も受け入れることができません。

聖霊のバプテスマも、

また聖書にあるそのほかの偉大な福音の教え、

使徒的な真理も受け入れることができません。

なぜでしょうか。

彼らの信条が、それを退けているから です。

ああ、何という愚かなことでしょう。

贈り物が包まれている 包み紙 のほうを取って、

中の贈り物そのものを捨ててしまうとは。

ちょうど愚かな者が、

箱だけを受け取って、

中の贈り物を捨ててしまうようなものです。

今日の教会も、そして人々も、まさにその通りです。

彼らは忘れてしまっているのです。

43 もしこの聖霊の宗教が今日の人々の社会に適合するなら、彼らはそれを受け入れるでしょう。でも、それではなぜ彼らはそれを受け取らないのでしょうか?なぜなら、彼らはキリストよりも自分たちの社会を考えているからです。それは本当です。

あなたはこう言います、“あなたは彼についてとても熱心に話しています。”

私は彼のために取り上げています。彼は私の主です。私は彼の僕です。私には間違ったことに対して叫ぶ権利があります。そうだね。そしてクリスチャンはそれを信じ、それを知り、それを受け入れ、それが真実であることを知っています。

44 この包装されたパッケージを受け取らなかった理由は何ですか?彼らはその中に何が入っているかを知っていましたが、それを望んでいませんでした。

それが..今日の教会や人々、政府や土地が神のクリスマスプレゼントを受け取らない理由は、そこに何が入っているかを知っているからです。彼らはそれを望んでいません。それは女性の行動を違ったものにするでしょう。それは男性の行動を違ったものにするでしょう。狂信者の名前を名乗らなければなりません。あなたは主の軽蔑される少数の者たちと同じ道を歩まなければなりません。人生を片付けなければなりません。意地悪はやめなきゃならないよ。不正行為、不正行為、窃盗、嘘、姦淫をやめなければなりません。こういったことは止めなければなりません!

そして人々はそれが正しいと知っているかもしれないが、それを望んでいない。しかし、彼らはそれを望んでいません。それは彼らにあまりにも多くの真実をもたらします。それは彼らの罪を明らかにします。したがって、彼らはそれを望んでいませんし、それとは何の関係も持ちたくないのです。“近づかないでください!”

45 あの日はそうだった。彼らはそこに何が包まれているかを知っていたので、「立ち去ってください!」と言いました 彼らはそれを望んでいません。それは今日も同じことであり、決して望んでいませんでした。そして、彼らは今日聖霊を望んでいません。それは、聖霊に何が包まれているかを知っているからです。

彼らは人が聖霊を受けるのを見ることができません。彼らはそこに立って、その女性が一犬ですらほとんど彼女を見なくなるまで、おそらくできる限り低く—その女性が新しい人として祭壇から上がってくるのを見て、その女性が自分の人生をきれいにし、外に出て、女性のように振る舞います。パーティーの橋渡し

ほら、彼は汚れた布、おくるみの布に包まれていました。そして神は今日、彼らが言うところの“聖なるローラー、狂信、異端者の集団”同じものに包まれています おくるみの布に包まれていて、世界はそれを望んでいません。ああ、その布を上げて、その下に横たわっているものを見ることができてとてもうれしいです—永遠の命、神は肉を作り、私たちの間に住んでいました!

40 彼らは彼を望んでいませんでした。それは彼らの宗教界に干渉した。今日それを受け取ることは、彼らの邪魔になります。ああ、もし誰かが教会で立ち上がって神を叫んだり賛美したりし始めたり、あるいはここにいる牧師のグループか何かのように、あるいは聴衆の中で誰かが“アーメン”と言ったりしたら、すぐに案内係が彼らをドアまで案内するでしょう。そして、もし本にあなたの名前が載っていたら、それはすぐに削除されるでしょう。ほら、神にはチャンスがないんだ。

41 もし次期大統領ケネディがこの街を訪れれば、国旗が掲げられ、キラキラ光る飾り物が掲げられ、絨毯が敷かれ、これまで見たことのないような歓迎が行われるだろう—彼らがそうしたいのであれば、それはそれで構わない。彼は選出されたアメリカ合衆国大統領です。しかし、もし彼が来れば、彼らはそのすべてを行い、彼を大いに歓迎し、ニューヨークや大都市が呼びかけているインディアナ州ジェファーソンビルのような小さな都市に来られたことを謙虚に思っただろう。彼と話すためのほんの一瞬だけ、どこでも彼を呼びます。

もし彼がジェファーソンビル、私たちのような貧しい街に来たら、彼らは私たちが犬と呼ぶものをどのように着るでしょうか。そして彼らはあらゆることをし、街路を飾り、彼を歓迎するためにあらゆることをしました。大丈夫だよ。政治家なら大丈夫だよ。

42 しかし、イエスはご自身の力の復活という形で来られ、聖霊によって来られ、しるしや不思議を示すことができ、どの新聞もそれを批判するでしょう。人々はそれを“聖なるローラーと呼ぶでしょう。”彼らは言うでしょう、“人々は気が狂っています。”私たちの名前が書かれた原爆を手に入れたのも不思議ではありません!慈悲を拒絶せよ、裁きだけが残る!ああ、彼らはそれを受け取らないでしょう。彼らはその時しないだろう;彼らは今しないだろう。

なぜ彼らはそれをしなかったのですか?ただ聞きたいのですが、なぜ彼らは神のクリスマスプレゼントを受け入れなかったのでしょうか?なぜ彼らはそれをしなかったのですか?もしそれが彼らがただ見ることができた贈り物であり、それが彼らの社会に合うものであれば、それは問題なかったでしょう。

神の賜物は、イエス・キリストによる永遠のいのちである ということ。

そして主は今日も、あの時と同じように拒まれています。

このクリスマスの夜も、

主は最初のクリスマスの夜と同じほどに、

いや、それと変わらぬほどに拒まれているのです。

人々にはそれを受け入れることができません。

なぜなら、それが自分たちの信条と合わない からです。

そして時代を通してずっと、

私たちは同じことを繰り返してきたのです。

38 だからこそ、宿屋には彼のいる場所がなかった のです。

そうです。そこに彼のための部屋はありませんでした。

なぜなら、包まれ方が違っていた からです。

それは上品な包み紙に包まれていたのではありませんでした。

それは 神からの贈り物 として包まれていたのです。

神から送られた贈り物でした。

しかもその神は、彼らが少しも知らない神でした。

もともと、彼らは自分たちは神を知っていると主張していました。

そして、自分たちはその方を待ち望んでいるのだとも言っていました。

しかし、その方は

彼らの信条が思い描いていたやり方では来られなかった のです。

だから彼らは、神の贈り物を受け取ることができなかった のです。

その贈り物は、彼らの思っていたのとは違う包み方をされていました。

赤ん坊のように包まれていたのです。
飼い葉おけの中に生まれました。
貧しい人々を通して来られました。
熱狂者の集まりのように見られる人々の中から来られました。
それで、どうして彼らにそんなものが受け入れられたのでしょうか。
だからこそ、宿屋には彼のための部屋がなかったのです。
そして今もなお、
教会の中に、彼のための場所はありません。
人々は主を締め出してしまいます。
それを信じようとしません。
彼らは言います。
「そんなものは要らない。あれは熱狂主義だ。
そんなものとは関わりたくない。
それは私たちの先祖の教えに反する。
この教会の教理に反する。
私たちの父祖たちの信条に反する。」
それゆえ、キリストは今日も、あの時と同じように拒まれているのです。
今夜も、私たちの立派な教会、
大きな教会、
見栄えの良い教会の中に、
キリストのための場所はありません。
今日の宗教界には、

聖霊の集会のための場所がありません。
人々はそれを望みません。
なぜなら、それはこの国の上流の人々の目には、
自分たちを低く見せるものになるからです。
祭壇の前に出て、
泣きながら祈り、
上からの力に満たされるまでそこに留まる——
そんなふうに分身を低くすることは、
彼らには耐えられないのです。
そしてそこから、
新しいいのちをもって立ち上がること。
女たちが髪を伸ばし、
女らしくふるまうようになること。
男たちがタバコを捨て、
酒をやめ、
家族を正しく扱うようになること。
そういうことは、彼らにとって重すぎるのです。
それで彼らは、
神の贈り物、神のクリスマスの贈り物を受け取る代わりに、
自分たちの教会の信条にしがみつくのです。

39 彼らは贈り物よりも信条を持ち、贈り物よりも紙を持ちたいと考えています。彼らは確かに、その紙、キラキラ光るもの、そしてそれに対して大騒ぎできるものを望んでいます。しかし、その中にある本当の贈り物は、彼らはそれを望んでいません。